

東洋大学大学院文学研究科規程

平成29年規程第27号
平成29年 4 月 1 日
施行

改正 平成30年 4 月 1 日
(趣旨)

第 1 条 この規程は、東洋大学大学院学則（以下「学則」という。）第 4 条第 5 項に基づき、東洋大学大学院文学研究科（以下「文学研究科」という。）の教育研究に関し必要な事項を定める。
(人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的)

第 2 条 文学研究科は、学則第 4 条の 2 に基づき、研究科及び各専攻の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を別表第 1 のとおり定める。
(修了の認定及び学位授与、教育課程の編成及び実施並びに入学者の受入れに関する方針)

第 3 条 文学研究科は、学則第 4 条の 3 に基づき、各専攻の修了の認定及び学位授与に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針並びに入学者の受入れに関する方針を別表第 2 のとおり定める。
(教育課程)

第 4 条 文学研究科は、学則第 5 条の 2 及び第 7 条に基づき、各専攻の教育課程における科目区分、授業科目及び研究指導科目の名称、単位数、配当学年、履修方法等を別表第 3 のとおり定める。
(修了に必要な単位等)

第 5 条 文学研究科は、学則第 12 条及び第 13 条に基づき、各専攻の修了に必要な単位等を別表第 4 のとおり定める。
(教育職員の免許状)

第 6 条 学則第 19 条に基づき、文学研究科で取得できる免許状の種類及び教科は、次表のとおりとする。

専攻	免許状の種類及び教科		
	高等学校教諭専修免許状	中学校教諭専修免許状	その他
哲学	公民	社会	—
インド哲学仏教学	公民	社会	
日本文学文化	国語	国語	
中国哲学	国語	国語	
英文学	英語	英語	
史学	地理歴史	社会	
教育学	地理歴史・公民	社会	特別支援学校教諭専修免許状 (知的障害者) (肢体不自由者) (病弱者)
			小学校教諭専修免許状
英語コミュニケーション	英語	英語	—

(教育職員の免許状取得のための授業科目及び単位数)

第 7 条 学則第 19 条第 2 項に基づき、文学研究科で教育職員の免許状を取得しようとする者は、別表第 5 に定める所定の授業科目の単位を修得し、東洋大学大学院（以下「本大学院」という。）の課程に 1 年以上在学し 30 単位以上修得、又は学則第 12 条に規定する要件を充足しなければならない。
(改正)

第 8 条 この規程の改正は、学長が文学研究科委員会の意見を聴き、研究科長会議の審議を経て行う。

附 則

- この規程は、平成29年 4 月 1 日から施行する。
- 前項の規定にかかわらず、平成28年度以前の入学生については、第 4 条別表第 3 を除き、なお従前の例による。

附 則

- この規程は、平成30年 4 月 1 日から実施する。
- 前項の規定にかかわらず、平成29年度以前の入学生については、改正後の第 3 条及び第 3 条別表第 2 並びに第 4 条別表第 3 を除き、なお従前の例による。

別表第1 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

文学研究科

人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的
【博士前期課程】 (1) どのような人材を養成し、どのような人材を世に送り出すか 人間の知的活動に関わるそれぞれの専門科目について、高度な知識と教養を持ち、それを実際に活用して主体的に社会の課題に取り組むことのできる人材を養成することを目的とする。 (2) 学生にどのような能力を習得させるのか等の教育研究上の目的 人間の知的活動に関わるそれぞれの専門科目について深い理解と洞察力を有し、それを表現できる能力を習得させることを目的とする。 【博士後期課程】 (1) どのような人材を養成し、どのような人材を世に送り出すか 人間の知的活動に関わるそれぞれの専門科目について高度の専門的知識と研究能力を持ち、それによって文化の向上に寄与するとともに社会の要請に創造的に応えることのできる人材を養成することを目的とする。 (2) 学生にどのような能力を習得させるのか等の教育研究上の目的 人間の知的活動に関わるそれぞれの専門科目について深い理解と洞察力を有し、それを研究論文として論理的に説明し社会に発信できる能力を習得させることを目的とする。

文学研究科哲学専攻

人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的
【博士前期課程】 (1) どのような人材を養成し、どのような人材を世に送り出すか 理論哲学と実践哲学との統合を目指し、現実直面する課題に対して問題解決のための様々な提案、アイデアを提起できるような人材の養成を目的とする。 (2) 学生にどのような能力を習得させるのか等の教育研究上の目的 哲学理論を核心に据えながらも、医学を含む多面的思考を習得させ、各種境界領域においてさまざまな人的・知的資源を有効に組み立てることのできる能力を習得させることを目的とする。 【博士後期課程】 (1) どのような人材を養成し、どのような人材を世に送り出すか 理論哲学と実践哲学との統合を目指し、深い哲学的知識に基づきながら、現実直面する課題解決のために様々なアイデアを提起し、かつ自らその実現に尽くすことができるような人材の養成を目的とする。 (2) 学生にどのような能力を習得させるのか等の教育研究上の目的 テキスト研究・哲学史・解釈史研究を中軸に据え、伝統的な哲学の場に立って現実社会に対して提言をする専門的研究者に必要な能力を習得させることを目的とする。

文学研究科インド哲学仏教学専攻

人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的
【博士前期課程】 (1) どのような人材を養成し、どのような人材を世に送り出すか 仏教思想と文化、またはインド思想と文化に関する豊かな学識を有し、それらを実社会で活用できる人材を養成することを目的とする。 (2) 学生にどのような能力を習得させるのか等の教育研究上の目的 仏教思想と文化、またはインド思想と文化の研究に不可欠な諸言語の十分な能力を習得させるとともに、文献解説や調査等に必要となる社会的能力を習得させ、総合的な研究能力を習得させることを目的とする。 【博士後期課程】 (1) どのような人材を養成し、どのような人材を世に送り出すか 仏教思想と文化、またはインド思想と文化に関して自立的で卓越した研究能力を有する人材を養成することを目的とする。 (2) 学生にどのような能力を習得させるのか等の教育研究上の目的 仏教思想と文化、またはインド思想と文化の研究に係わる高度な専門的業務に従事する能力を習得させることを目的とする。

文学研究科日本文学文化専攻

人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的
【博士前期課程】 (1) どのような人材を養成し、どのような人材を世に送り出すか 各自の研究課題を軸として、広く日本文学文化分野を考究し、国際化時代に適応する高度教養人や高度職業人、とりわけ、研究実践に基づく卓越した能力を持つ国語科中等教育教員などの人材を養成することを目的とする。 (2) 学生にどのような能力を習得させるのか等の教育研究上の目的 国際化時代に対応した日本文学文化の研究実践を通して、哲学的洞察力をもって文化の継承と創造に積極的に寄与しうる研究能力を習得させることを目的とする。 【博士後期課程】 (1) どのような人材を養成し、どのような人材を世に送り出すか 専門知識を学術的に展開する研究者としての資質を成長させ、研究能力を生かした日本文学文化分野の研究職員及び国際社会に対応できるような高度な専門的業務に従事できる人材を養成することを目的とする。 (2) 学生にどのような能力を習得させるのか等の教育研究上の目的 国際化時代に対応した日本文学文化の研究実践を通して、哲学的洞察力をもって文化の継承と創造に積極的に寄与しうる専門的かつ高度な研究能力とそれを社会に還元できる能力を習得させることを目的とする。

文学研究科中国哲学専攻

人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的
【博士前期課程】 (1) どのような人材を養成し、どのような人材を世に送り出すか 中国哲学・中国文学・中国語を三位一体のものとして学び、古典を理解する教養を持つとともに、現代の中国をも理解する力を持ち、これを活用して幅広く社会で活躍できる人材を養成することを目的とする。 (2) 学生にどのような能力を習得させるのか等の教育研究上の目的 原典読解力と中国学で得た知見とに基づいて物事を合理的に考察し、それを論理的に表現できる能力を習得させることを目的とする。 【博士後期課程】 (1) どのような人材を養成し、どのような人材を世に送り出すか 優れた原典読解力に基づいて、東アジア漢字文化圏の支柱となってきた中国の哲学および文学遺産の歴史的・今日的意義を明らかにして社会に寄与できる人材を養成することを目的とする。 (2) 学生にどのような能力を習得させるのか等の教育研究上の目的 独自の手法や視点に基づき、高度な知見と見識を駆使して、中国の哲学や文学の意義を明らかにすることで社会に寄与する研究論文を作成できる能力を習得させることを目的とする。

文学研究科英文学専攻

人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的
【博士前期課程】 (1) どのような人材を養成し、どのような人材を世に送り出すか 英語の十分な運用能力と英米文化についての基礎的知識を有し、これを教育、研究あるいは一般社会におけるその他の専門領域において活用できる人材を養成することを目的とする。 (2) 学生にどのような能力を習得させるのか等の教育研究上の目的 近代英語で書かれた文学テキストを読み、必要な文献を参照して、学術スタイルの論文・レポートを書くことができる能力を養成し、これを通して修了後の多方面でのキャリアのために十分な英語運用能力と英米文化についての基礎知識を身につけさせ、社会の多方面で応用できる専門的かつ実践的能力を習得させることを目的とする。 【博士後期課程】 (1) どのような人材を養成し、どのような人材を世に送り出すか 前期課程で養われた能力を基盤として、英語の十分な運用能力と英米文化についての高度な知識を有し、これを教育、研究あるいは一般社会におけるその他の専門領域において活用できる人材を養成することを目的とする。 (2) 学生にどのような能力を習得させるのか等の教育研究上の目的 英米文学・語学において博士号を取得できる水準の自立的研究能力を養成する。このために文学テキスト・語学資料はもちろん、多方面にわたる研究書を読みこなし、これらの諸資料を適切に処理することによって、独創的な論文を書き、発表できる力を持てるよう指導する。こうして得られた学識と英語力を活かして、研究職のみならず社会の多方面で活躍できる能力を習得させることを目的とする。

文学研究科史学専攻

人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的
【博士前期課程】 (1) どのような人材を養成し、どのような人材を世に送り出すか 歴史に対する深い知識と洞察力を持ち、学校教育、社会教育、ならびに情報産業等の幅広い分野で活躍する、高度の専門性を持つ人材を養成することを目的とする。 (2) 学生にどのような能力を習得させるのか等の教育研究上の目的 日本史学・東洋史学・西洋史学の3コースを置き、歴史を幅広く理解するとともに、専門領域を深く探求する研究能力、およびそれを利用して社会に貢献する能力を習得させることを目的とする。また、博士後期課程進学のための研究能力を習得させることを目的とする。 【博士後期課程】 (1) どのような人材を養成し、どのような人材を世に送り出すか 専門とする歴史学の領域において独創的な研究により学界に寄与し、歴史研究者として自立した研究活動を営み、その能力を通じて社会に貢献できる人材を養成することを目的とする。 (2) 学生にどのような能力を習得させるのか等の教育研究上の目的 日本史学・東洋史学・西洋史学に関わる多くの専門科目を置き、歴史を幅広く理解するとともに、専門領域に深い学識を有し、新たな体系的知見を学界・社会に還元する能力を習得させることを目的とする。

文学研究科教育学専攻

人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的
【博士前期課程】 (1) どのような人材を養成し、どのような人材を世に送り出すか 教育について高い見識を持ち、学校教育、社会教育で活躍する高度職業人、および行政機関や非営利団体、知識情報産業などで活躍する人材の養成を目的とする。 (2) 学生にどのような能力を習得させるのか等の教育研究上の目的 教育諸問題について広い視野に立つことを可能にする深い学識、および教育関連諸分野における実践的かつ専門的能力を習得させることを目的とする。 【博士後期課程】 (1) どのような人材を養成し、どのような人材を世に送り出すか 教育学・心理学を学んだ成果を生かし、学校教育や社会教育分野において指導的立場で活躍する高度職業人、および行政機関や非営利団体、知識情報産業などで活躍する指導的人材の養成を目的とする。 (2) 学生にどのような能力を習得させるのか等の教育研究上の目的 教育諸問題について幅広い視野から研究する力量、および自立的な研究者に必要な研究能力、さらには、教育関連諸分野において指導的立場で活躍できる資質と能力を習得させることを目的とする。

文学研究科英語コミュニケーション専攻

人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的
【博士前期課程】 (1) どのような人材を養成し、どのような人材を世に送り出すか 中高の英語教育を担える人材及び社会で実践的なコミュニケーション能力を発揮できる人材を養成することを目的とする。 (2) 学生にどのような能力を習得させるのか等の教育研究上の目的 英語によるコミュニケーションの高度な運用能力を習得させることを目的とする。 【博士後期課程】 (1) どのような人材を養成し、どのような人材を世に送り出すか 実践的コミュニケーション能力を備えた上で、高度な知識を持ち自立的に活動できる人材を養成することを目的とする。 (2) 学生にどのような能力を習得させるのか等の教育研究上の目的 実践的コミュニケーションの能力を自由に駆使しながら、専門的な研究・教育活動を推進できる能力を習得させることを目的とする。

別表第2 修了の認定及び学位授与、教育課程の編成及び実施並びに入学者の受入れに関する方針

文学研究科哲学専攻

1. 修了の認定及び学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）
【博士前期課程】 以下の資質や能力を身につけたうえで、所定の年限・単位数等を満たし、修士学位論文の審査及び最終試験に合格した者に対して、修士の学位を授与する。 - 従来の研究成果を十分に吸収した上で、その適切な活用を行う能力を身につけている。 - 当該研究分野において新たな知見を付与する独創性を身につけている。 - 分析の面においても論理展開の面においても、自立的な研究者として研究活動を行うことのできる、高度な研究能力を示す実証性、体系性を身につけている。 - 高度な専門的業務を遂行するに十分な学識と能力を身につけている。 【博士後期課程】 以下の資質や能力を身につけたうえで、所定の年限を満たし、博士学位論文の審査及び最終試験に合格した者に対して、博士の学位を授与する。 博士前期課程の学位授与に求められる資質や能力を備えた上で、学界や社会に寄与する論文を執筆する研究能力を身につけている。
2. 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）
【博士前期課程】 - 教育課程の編成／教育内容・方法 「哲学研究指導」科目を中心に、「古代哲学、中世哲学、近世哲学、現代哲学、比較哲学、論理学、倫理学、実践哲学」等の科目を幅広く開講し、各自の専門領域の外国語テキストの解説、解釈を徹底するとともに、精神医学など多方面の知識を習得させる。また研究指導においては、各自のテーマに合わせて、そのテーマに必要な能力の養成を行う。 - 学修成果の評価 学修成果の評価については、以下の要素・方法により評価する。 ①授業科目については、あらかじめ示す成績評価基準に沿って、各授業科目のシラバスに記載されている方法により、授業担当教員が評価する。 ②研究指導については、研究過程における達成度を、あらかじめ示す研究指導計画をもとに、論文報告会等を通じて、研究指導教員および本専攻所属教員により組織的に評価する。 ③学位請求論文については、あらかじめ示す論文審査基準、審査体制に基づき、評価を行う。 【博士後期課程】 - 教育課程の編成／教育内容・方法 1年間の海外留学を推奨し、外国語テキストの一次文献、二次文献の読解力、作文力の習得を目指す。また、実践哲学を通しての実践領域における諸問題の哲学的解明を有効に展開しうる能力を養成し、各自の論文課題にしたがって科目を選択できる教育課程を整備する。 - 学修成果の評価 学修成果の評価については、以下の要素・方法により評価する。 ①授業科目については、あらかじめ示す成績評価基準に沿って、各授業科目のシラバスに記載されている方法により、授業担当教員が評価する。 ②研究指導については、研究過程における達成度を、あらかじめ示す研究指導計画をもとに、論文報告会等を通じて、研究指導教員および本専攻所属教員により組織的に評価する。 ③学位請求論文については、あらかじめ示す論文審査基準、審査体制に基づき、評価を行う。
3. 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）
本専攻の目的に即して、理論哲学と実践哲学のどちらを中心にするにしても、両方の統合に努力し、社会における諸問題に関して統合的哲学研究を通して解決する能力を有する人材の養成に努めるべく、それにふさわしい知識、能力、意欲のある人材を受け入れる。 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 - 問題の中心的な課題を見出すための知識のある者 - 解決の選択肢を複数個設定することのできる能力のある者 - 上記に必要な持続的な作業を支える意欲のある者 【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 - 問題の中心的な課題を見出し、さらに新たな問題そのものを発見していくための知識のある者 - 解決の選択肢を複数個設定し、手続き的な優先順位を決めることのできる能力のある者 - 上記に必要な持続的な作業を発展的に支える意欲のある者

1. 修了の認定及び学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー） 【博士前期課程】 以下の資質や能力を身につけたうえで、所定の年限・単位数等を満たし、修士学位論文の審査及び最終試験に合格した者に対して、修士の学位を授与する。 (1) 仏教思想と文化、またはインド思想と文化に関する専門的な知識を身につけている。 (2) 仏教思想と文化、またはインド思想と文化に関する知識を実社会で活用できる能力を身につけている。 (3) 仏教思想と文化、またはインド思想と文化に関する研究能力を身につけている。 【博士後期課程】 以下の資質や能力を身につけたうえで、所定の年限を満たし、博士学位論文の審査及び最終試験に合格した者に対して、博士の学位を授与する。 (1) 当該分野における従来の研究成果を十分に吸収し批判できる能力を身につけている。 (2) 当該分野の研究において新知見を付与し、独自性を発揮できる能力を身につけている。 (3) 研究に必要な高い学識と自立的な研究能力を身につけている。
2. 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー） 【博士前期課程】 (1) 教育課程の編成 / 教育内容・方法 ディプロマ・ポリシーの達成のために、「授業科目（コースワーク）」と「研究指導（リサーチワーク）」を適切に組み合わせた教育課程を体系的に編成する。授業科目は、3領域から構成され、インド思想・文化研究には「インド哲学研究」、仏教思想・文化研究には「インド仏教研究」と「東アジア仏教研究」を開講し、各科目とも講義で研究課題の概説をし、演習では主に原典読解を指導して、当該分野における研究課題と方法の基本を教授する。研究指導はおもに主指導教員が修士論文執筆予定者に個別に論文執筆の具体的な指導をする。 (2) 学修成果の評価 学修成果については、客観性及び厳格性を確保しつつ、以下の要素・方法により評価する。 ① 授業科目については、あらかじめ示す成績評価基準に沿って、各授業科目のシラバスに記載されている方法により、授業担当教員が評価する。 ② 研究指導については、研究過程における達成度を、あらかじめ示す研究指導計画をもとに、論文報告会等を通じて、研究指導教員および本専攻所属教員により組織的に評価する。 ③ 学位請求論文については、あらかじめ示す論文審査基準、審査体制に基づき、評価を行う。 【博士後期課程】 (1) 教育課程の編成 / 教育内容・方法 ディプロマ・ポリシーの達成のために、「授業科目（コースワーク）」と「研究指導（リサーチワーク）」を適切に組み合わせた教育課程を体系的に編成する。授業科目はインド思想・文化研究および仏教思想・文化研究のために各々「特殊研究」を開講し、各科目とも講義で高度な研究課題を提示し、演習では研究動向の指導と主に原典解説を指導して、博士論文執筆予定者の資料研究を教授する。研究指導はおもに主指導教員が個別に論文執筆ならびに学会発表の具体的な指導をする。また、研究分野・内容によって海外の研究機関への留学も薦める。 (2) 学修成果の評価 学修成果については、客観性及び厳格性を確保しつつ、以下の要素・方法により評価する。 ① 授業科目については、あらかじめ示す成績評価基準に沿って、各授業科目のシラバスに記載されている方法により、授業担当教員が評価する。 ② 研究指導については、研究過程における達成度を、あらかじめ示す研究指導計画をもとに、論文報告会等を通じて、研究指導教員および本専攻所属教員により組織的に評価する。 ③ 学位請求論文については、あらかじめ示す論文審査基準、審査体制に基づき、評価を行う。
3. 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー） 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学希望者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 当該分野に関して基本的で広汎な知識のある者 (2) 誠実で自らを律しながら研究に取り組み、研究資料を十分に読解し、その成果を体系的に表現できる能力のある者 (3) 研究対象に主体的に真摯に取り組み、必要に応じて協働で研究するなどの意欲のある者 【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学希望者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 当該分野に関する広汎かつ高度な知識と研究動向についての知識のある者 (2) 研究領域に関わる語学能力と独創的研究に耐えうる能力のある者 (3) 自立的に研究を進め、研究者としての社会的倫理性を高める意欲のある者

文学研究科日本文学文化専攻

1. 修了の認定及び学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー） 【博士前期課程】 以下の資質や能力を身につけたうえで、所定の年限・単位数等を満たし、修士学位論文の審査及び最終試験に合格した者に対して、修士の学位を授与する。 (1) 専門分野における基礎的な研究能力を身につけている。 (2) 哲学的洞察力をもって文化の継承と創造に積極的に寄与しうる能力を身につけている。 【博士後期課程】 以下の資質や能力を身につけたうえで、所定の年限を満たし、博士学位論文の審査及び最終試験に合格した者に対して、博士の学位を授与する。 (1) 専門分野における高度な研究能力を身につけている。 (2) 哲学的洞察力をもって文化の継承と創造に積極的に寄与しうる能力を身につけている。 (3) 日本文学文化分野の教職員や国際社会の専門的業務に従事できる能力を身につけている。
2. 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー） 【博士前期課程】 (1) 教育課程の編成／教育内容・方法 ディプロマ・ポリシーの達成のために、「授業科目（コースワーク）」と「研究指導（リサーチワーク）」を適切に組み合わせた教育課程を体系的に編成する。授業科目は、古代日本から近現代日本に至る文学文化と日本語を中核に、講義科目と演習科目を有機的に連携させて配列するとともに、文化間融合の観点から「隣接領域科目」を、日本文学文化を相対化、比較対照する観点から「比較文学文化科目」を、それぞれ講義科目として設置し、各自が専門的かつ横断的に選択履修できるよう編成する。いずれも専門分野を幅広い視点から探究できるよう学問領域のエッセンスとテーマを掲げて教授する。研究指導は個人指導を重視し、各自が自らの研究課題を明確に設定、追究できるよう、問題の設定、分析の方法、参考文献や論文作成の方法などを、専門性の高いレベルできめ細かに指導する。 (2) 学修成果の評価 学修成果については、客観性及び厳格性を確保しつつ、以下の要素・方法により評価する。 ①授業科目については、あらかじめ示す成績評価基準に沿って、各授業科目のシラバスに記載されている方法により、授業担当教員が評価する。 ②研究指導については、研究過程における達成度を、あらかじめ示す研究指導計画をもとに、論文報告会等を通じて、研究指導教員および本専攻所属教員により組織的に評価する。 ③学位請求論文については、あらかじめ示す論文審査基準、審査体制に基づき、評価を行う。 【博士後期課程】 (1) 教育課程の編成／教育内容・方法 ディプロマ・ポリシーの達成のために、「授業科目（コースワーク）」と「研究指導（リサーチワーク）」を適切に組み合わせた教育課程を体系的に編成する。授業科目は、各自が専門分野をより深く探求できるよう、古代日本から近現代日本に至る文学文化と日本語についての講義科目を配列し、専門領域の現在的課題を教授する。研究指導は個人指導を重視し、各自が自らの研究課題を明確に定め追究できるよう、問題の設定、分析の方法、参考文献や論文作成の方法などを、専門性の高いレベルできめ細かに指導する。 (2) 学修成果の評価 学修成果については、客観性及び厳格性を確保しつつ、以下の要素・方法により評価する。 ①授業科目については、あらかじめ示す成績評価基準に沿って、各授業科目のシラバスに記載されている方法により、授業担当教員が評価する。 ②研究指導については、研究過程における達成度を、あらかじめ示す研究指導計画をもとに、論文報告会等を通じて、研究指導教員および本専攻所属教員により組織的に評価する。 ③学位請求論文については、あらかじめ示す論文審査基準、審査体制に基づき、評価を行う。
3. 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー） 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学希望者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 日本語・日本文学の基礎知識のある者 (2) 文学の基礎的読解力、外国語・漢文の基礎的能力のある者 (3) 国際的視野に基づく文化の継承と創造への参画に意欲のある者 【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学希望者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 高度な専門知識と論理性を持つ修士論文を執筆できる能力を有している者 (2) 日本語・日本文学の専門知識のある者 (3) 外国語の基礎的能力のある者 (4) 国際的視野に基づく文化の継承と創造への参画に意欲のある者

1. 修了の認定及び学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）
【博士前期課程】 以下の資質や能力を身につけたうえで、所定の年限・単位数等を満たし、修士学位論文の審査及び最終試験に合格した者に対して、修士の学位を授与する。 (1) 中国の哲学や文学について専門的な知識を有し、正確な原典読解力を身につけている。 (2) 漢文（中国文）で著された中国古典および近現代作品の原典に基づいて、自ら考え設定した課題を考察する力を身につけている。 【博士後期課程】 以下の資質や能力を身につけたうえで、所定の年限を満たし、博士学位論文の審査及び最終試験に合格した者に対して、博士の学位を授与する。 (1) 中国の哲学や文学作品読解に関して、独自の手法や視点を身につけている。 (2) 中国の哲学や文学作品について深い学識を有するとともに、主体的な問題意識に基づいて研究論文を作成する力を身につけている。 (3) 高度な知見と見識の反映する研究成果を世に問い、学界に寄与する高度な水準の研究能力を身につけている。
2. 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）
【博士前期課程】 (1) 教育課程の編成／教育内容・方法 ディプロマ・ポリシーの達成のために、「授業科目（コースワーク）」と「研究指導（リサーチワーク）」を適切に組み合わせた教育課程を体系的に編成する。授業科目は、中国哲学・中国文学・中国語学にわたる演習科目や特論科目を配置し、原典の読解力を深めるとともに、文献の扱いに習熟するために、専門とする領域に上記三分野の科目を取組んで、重層的な中国理解を目指す。研究指導は、「研究指導」科目を設置し、研究方法の確立を目指して、論文作成の手順を指導する。 (2) 学修成果の評価 学修成果については、客観性及び厳格性を確保しつつ、以下の要素・方法により評価する。 ① 授業科目については、あらかじめ示す成績評価基準に沿って、各授業科目のシラバスに記載されている方法により、授業担当教員が評価する。 ② 研究指導については、研究過程における達成度を、あらかじめ示す研究指導計画をもとに、論文報告会等を通じて、研究指導教員および本専攻所属教員により組織的に評価する。 ③ 学位請求論文については、あらかじめ示す論文審査基準、審査体制に基づき、評価を行う。 【博士後期課程】 (1) 教育課程の編成／教育内容・方法 ディプロマ・ポリシーの達成のために、「授業科目（コースワーク）」と「研究指導（リサーチワーク）」を適切に組み合わせた教育課程を体系的に編成する。授業科目は、中国哲学・中国文学に関わる「特殊研究」を配置し、文献の批判的検討と分析を行いつつ、優れた文献読解能力を涵養するとともに、独自の研究方法構築への方途を教授する。研究指導は、「特殊研究」と密接に結びついた「研究指導」科目によって、独自の手法や視点に基づいた研究論文の作成方法を指導する。 (2) 学修成果の評価 学修成果については、客観性及び厳格性を確保しつつ、以下の要素・方法により評価する。 ① 授業科目については、あらかじめ示す成績評価基準に沿って、各授業科目のシラバスに記載されている方法により、授業担当教員が評価する。 ② 研究指導については、研究過程における達成度を、あらかじめ示す研究指導計画をもとに、論文報告会等を通じて、研究指導教員および本専攻所属教員により組織的に評価する。 ③ 学位請求論文については、あらかじめ示す論文審査基準、審査体制に基づき、評価を行う。
3. 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）
【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 中国哲学・中国文学・中国語に関する基礎的知識のある者 (2) 文献の基本的読解能力をもち、文献を扱う基本的な訓練を経ている者 (3) 中国哲学・文学研究に、専門的に取り組もうとする意欲のある者 【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 中国哲学・中国文学・中国語に関する高度な知識のある者 (2) 優れた文献読解能力を持ち、文献の扱いに習熟した能力のある者 (3) 中国哲学・文学研究を深化させ、研究成果を研究論文の作成を通して発表してゆく意欲のある者

1. 修了の認定及び学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー） 【博士前期課程】 以下の資質や能力を身につけたうえで、所定の年限・単位数等を満たし、修士学位論文または特定の課題についての研究の成果（特定課題研究論文）の審査及び最終試験に合格した者に対して、修士の学位を授与する。 （1）英語の十分な運用能力と英米文化についての基礎的知識を身につけている。 （2）この能力と知識を、教育・研究・その他の専門領域において活用できる資質を身につけている。 【博士後期課程】 以下の資質や能力を身につけたうえで、所定の年限を満たし、博士学位論文の審査及び最終試験に合格した者に対して、博士の学位を授与する。 （1）博士前期課程で養われた能力を基盤として、さらに高度な英語の運用能力と英米文化についての広範囲にわたる知識を身につけている。 （2）この能力と知識を、教育・研究・その他の専門領域において活用し、一般社会に対して積極的に貢献できる資質を身につけている。
2. 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー） 【博士前期課程】 （1）教育課程の編成／教育内容・方法 ディプロマ・ポリシーの達成のために、「授業科目（コースワーク）」と「研究指導（リサーチワーク）」を適切に組み合わせた教育課程を体系的に編成する。授業科目は英文学・米文学・英語学の三分野に対して均等に演習と講義科目を配列し、受講生との対話を重視する形で、それぞれの研究分野の現状、方法論などを教授する。研究指導は受講生個々人の要望を聞きながら受講生との対話を重視する形で、研究の対象、目標、それに応じた方法、方針を指導する。 （2）学修成果の評価 学修成果については、客観性及び厳格性を確保しつつ、以下の要素・方法により評価する。 ①授業科目については、あらかじめ示す成績評価基準に沿って、各授業科目のシラバスに記載されている方法により、授業担当教員が評価する。 ②研究指導については、研究過程における達成度を、あらかじめ示す研究指導計画をもとに、論文報告会等を通じて、研究指導教員および本専攻所属教員により組織的に評価する。 ③学位請求論文については、あらかじめ示す論文審査基準、審査体制に基づき、評価を行う。 【博士後期課程】 （1）教育課程の編成／教育内容・方法 ディプロマ・ポリシーの達成のために、「授業科目（コースワーク）」と「研究指導（リサーチワーク）」を適切に組み合わせた教育課程を体系的に編成する。授業科目においては、受講生との対話を重視する形で、それぞれの研究分野の現状、方法論などを分析、検討する。研究指導においては、全国的あるいは国際的な学会での発表を念頭に、受講生が追究する研究の対象、目標、それに応じた方法、方針を検討する。ひいては博士論文の執筆につなげることを目的に、受講生との対話を重視し、個々人の要望を聞きながら、研究指導を進める。 （2）学修成果の評価 学修成果については、客観性及び厳格性を確保しつつ、以下の要素・方法により評価する。 ①授業科目については、あらかじめ示す成績評価基準に沿って、各授業科目のシラバスに記載されている方法により、授業担当教員が評価する。 ②研究指導については、研究過程における達成度を、あらかじめ示す研究指導計画をもとに、論文報告会等を通じて、研究指導教員および本専攻所属教員により組織的に評価する。 ③学位請求論文については、あらかじめ示す論文審査基準、審査体制に基づき、評価を行う。
3. 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー） 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 （1）基本的な英語運用能力と英米文化に関する知識のある者 （2）自己啓発に熱意をもって取り組む能力のある者 （3）誠実に自らを律しつつ、研究に取り組む意欲のある者 【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 （1）博士前期課程修了程度の英語運用能力と英米文化に関する知識のある者 （2）創造的研究に耐えうる能力のある者 （3）研究者として社会的倫理性を高めようとする意欲のある者

1. 修了の認定及び学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー） 【博士前期課程】 以下の資質や能力を身につけたうえで、所定の年限・単位数等を満たし、修士学位論文の審査及び最終試験に合格した者に対して、修士の学位を授与する。 (1) 歴史について基本的な知識を有し、専門とする領域について専門的知識があり、新たな知見を社会に還元する能力を身につけている。 (2) 歴史学的な研究方法に基づいて新たな知見を導き、学界の水準に達する修士学位論文を作成する能力を身につけている。 【博士後期課程】 以下の資質や能力を身につけたうえで、所定の年限を満たし、博士学位論文の審査及び最終試験に合格した者に対して、博士の学位を授与する。 (1) 歴史について広い視野と深い学識を有し、専門とする領域について高度な専門的知識があり、研究成果を通じて新たな知見を学界・社会に還元する能力を身につけている。 (2) 独創性に富む問題意識、および歴史学的な研究方法に基づく論理的分析により、学界に寄与する博士学位論文を作成する高度な研究能力を身につけている。
2. 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー） 【博士前期課程】 (1) 教育課程の編成 / 教育内容・方法 ディプロマ・ポリシーの達成のために、「授業科目（コースワーク）」と「研究指導（リサーチワーク）」を適切に組み合わせた教育課程を体系的に編成する。授業科目は日本史・東洋史・西洋史の3コースから構成され、政治・経済・社会・文化の幅広い領域について総合的な理解力を養成する科目を配置し、少人数の講義・演習により、史料を丹念に検証して史実を分析する歴史学的な研究方法や、最新の研究動向をふまえた学問的な知見を教授する。研究指導は、最新の研究動向をふまえて自ら課題を設定し、歴史学的な研究方法に基づいて新たな知見が導けるよう、個々の研究課題に即してきめ細かく指導する。 (2) 学修成果の評価 学修成果については、客観性及び厳格性を確保しつつ、以下の要素・方法により評価する。 ①授業科目については、あらかじめ示す成績評価基準に沿って、各授業科目のシラバスに記載されている方法により、授業担当教員が評価する。 ②研究指導については、研究過程における達成度を、あらかじめ示す研究指導計画をもとに、論文報告会等を通じて、研究指導教員および本専攻所属教員により組織的に評価する。 ③学位請求論文については、あらかじめ示す論文審査基準、審査体制に基づき、評価を行う。 【博士後期課程】 (1) 教育課程の編成 / 教育内容・方法 ディプロマ・ポリシーの達成のために、「授業科目（コースワーク）」と「研究指導（リサーチワーク）」を適切に組み合わせた教育課程を体系的に編成する。授業科目は、政治・経済・社会・文化の幅広い領域について歴史的な理解力を養成する科目を配置し、少人数の講義・演習により、史料を丹念に検証して史実を分析する歴史学的な研究方法や、最新の研究動向をふまえた学問的な知見を教授する。研究指導は、最新の研究動向をふまえて自ら課題を体系的に設定し、歴史学的な研究方法に基づいて、学界に寄与できる優れた研究成果が導けるよう、個々の研究課題に即してきめ細かく指導する。 (2) 学修成果の評価 学修成果については、客観性及び厳格性を確保しつつ、以下の要素・方法により評価する。 ①授業科目については、あらかじめ示す成績評価基準に沿って、各授業科目のシラバスに記載されている方法により、授業担当教員が評価する。 ②研究指導については、研究過程における達成度を、あらかじめ示す研究指導計画をもとに、論文報告会等を通じて、研究指導教員および本専攻所属教員により組織的に評価する。 ③学位請求論文については、あらかじめ示す論文審査基準、審査体制に基づき、評価を行う。
3. 入学者の受入れに関する方針（アドミSSION・ポリシー） 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 歴史について基本的な知識のある者 (2) 史料の解読能力、総合的な思考力・判断能力があり、学修成果を正確に伝えるコミュニケーション能力のある者 (3) 歴史研究の基礎となる専門的な知識や歴史学的な研究方法を、主体的に学ぶ意欲のある者 【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 歴史についての基本的な知識、専門とする領域についての専門的な知識のある者 (2) 歴史学的な研究方法を修得し、優れた研究能力があり、新たな知見を学界・社会に伝えるコミュニケーション能力のある者 (3) 歴史について広い視野と深い学識があり、研究に主体的に取り組む意欲のある者

1. 修了の認定及び学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）
【博士前期課程】 以下の資質や能力を身につけたうえで、所定の年限・単位数等を満たし、修士学位論文または特定の課題についての研究の成果（特定課題研究論文）の審査及び最終試験に合格した者に対して、修士の学位を授与する。 (1) 研究の社会的意義と目的を理解し、自ら設定したテーマにもとづいて研究を遂行し、研究を通じて社会に貢献する資質や能力を身につけている。 (2) 広い知識と洞察力、倫理観を備え、教育学の視点から発言し、社会に貢献できる資質や能力を身につけている。 【博士後期課程】 以下の資質や能力を身につけたうえで、所定の年限を満たし、博士学位論文の審査及び最終試験に合格した者に対して、博士の学位を授与する。 (1) 独自の実証と分析考察、および論理構成にもとづいた独創的な研究によって社会に貢献できる資質や能力を身につけている。 (2) 広汎な知識と深い洞察力、高い倫理観を備え、教育学の視点から社会に発信し、貢献する資質や能力を身につけている。
2. 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）
【博士前期課程】 (1) 教育課程の編成 / 教育内容・方法 ディプロマ・ポリシーの達成のために、「授業科目（コースワーク）」と「研究指導（リサーチワーク）」を適切に組み合わせた教育課程を体系的に編成する。授業科目は、「学校教育」「教育心理・相談」「生涯学習」「特別支援教育」の4領域を中心に、それぞれ研究方法論・研究史から最新の研究課題を扱ったものを配列し、少人数の演習形式によって、学生自らが社会的に意義ある研究課題と研究計画を立案・実行できるよう指導する。研究指導は、主指導教授、副指導教授の指導のもと、学生の問題意識・研究関心、職場や地域で抱える課題に即して、改善や解決に資する実践的な研究を行えるよう配慮する。 また、教育職員としての高い専門性をめざす者が所定の単位を修得した場合、中学校教諭（社会）、高等学校教諭（地理歴史・公民）、特別支援学校教諭、小学校教諭 等の教育職員専修免許状を取得することができるよう、免許取得に必要な科目を設置する。 (2) 学修成果の評価 学修成果については、客観性及び厳格性を確保しつつ、以下の要素・方法により評価する。 ① 授業科目については、あらかじめ示す成績評価基準に沿って、各授業科目のシラバスに記載されている方法により、授業担当教員が評価する。 ② 研究指導については、研究過程における達成度を、あらかじめ示す研究指導計画をもとに、論文報告会等を通じて、研究指導教員および本専攻所属教員により組織的に評価する。 ③ 学位請求論文については、あらかじめ示す論文審査基準、審査体制に基づき、評価を行う。 【博士後期課程】 (1) 教育課程の編成 / 教育内容・方法 ディプロマ・ポリシーの達成のために、「授業科目（コースワーク）」と「研究指導（リサーチワーク）」を適切に組み合わせた教育課程を体系的に編成する。授業科目は、「学校教育」「教育心理・相談」「生涯学習」「特別支援教育」の4領域を中心に、それぞれ研究方法論・研究史から最新の研究課題を扱ったものを配列し、少人数の演習形式によって、学生が独創的で社会的に意義ある研究課題と研究計画を立案・実行できるよう指導する。また研究指導は、主指導教授、副指導教授の指導のもと、学生の問題意識や研究関心、職場や地域で抱える課題、さらには世界的課題に即して、問題解決や改善、社会的提言に資する、高度な研究を行えるよう配慮する。 (2) 学修成果の評価 学修成果については、客観性及び厳格性を確保しつつ、以下の要素・方法により評価する。 ① 授業科目については、あらかじめ示す成績評価基準に沿って、各授業科目のシラバスに記載されている方法により、授業担当教員が評価する。 ② 研究指導については、研究過程における達成度を、あらかじめ示す研究指導計画をもとに、論文報告会等を通じて、研究指導教員および本専攻所属教員により組織的に評価する。 ③ 学位請求論文については、あらかじめ示す論文審査基準、審査体制に基づき、評価を行う。
3. 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）
【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 教育学や心理学のほか現代の教育問題や関連諸分野についての一般的知識のある者。 (2) 文献読解や論文作成、調査など研究に必要な基礎的能力のある者。 (3) 教育に対する深い関心と広い視野を持ち、真理の探究と研究を通じた社会貢献に対して意欲を持つ者。 【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 教育学や心理学のほか現代の教育問題や関連諸分野についての広範な知識のある者。 (2) 文献読解や論文作成、調査など研究に必要な能力のある者。 (3) 教育に対する深い関心と広い視野を持ち、真理の探究と研究を通じた社会貢献に対して高い倫理観と志を持つ者。

文学研究科英語コミュニケーション専攻

1. 修了の認定及び学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー） 【博士前期課程】 以下の資質や能力を身につけたうえで、所定の年限・単位数等を満たし、修士学位論文の審査及び最終試験に合格した者に対して、修士の学位を授与する。 (1) 基本的な英語の文献の読解力を身につけている。 (2) 文献を批判的に分析し、それをコミュニケーションに生かす能力を身につけている。 (3) 論理的に命題を展開し、コミュニケーションをすることのできる能力を身につけている。 (4) グローバル化する社会に貢献できる高度な実践的英語コミュニケーション能力を身につけている。 【博士後期課程】 以下の資質や能力を身につけたうえで、所定の年限を満たし、博士学位論文の審査及び最終試験に合格した者に対して、博士の学位を授与する。 (1) 英語文献に関する専門的な分析能力を身につけている。 (2) 高度な論理的思考力があり、かつ命題を創造的に展開し、コミュニケーションをとれる能力を身につけている。 (3) 研究においても実践的コミュニケーションにおいても顕著な独創性を発揮できる能力を身につけている。
2. 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー） 【博士前期課程】 (1) 教育課程の編成 / 教育内容・方法 ディプロマ・ポリシーの達成のために、「授業科目（コースワーク）」と「研究指導（リサーチワーク）」を適切に組み合わせた教育課程を体系的に編成する。授業科目は演習科目及び講義科目を効率的に配置し、演習・講義を通して各自が主体的に取り組むことで、文献調査の分析力、読解力、論理的思考力の向上を図れるように教授する。研究指導は関心のある命題の分析かつ論理的展開の仕方を指導し、独創的な研究を行えるように指導する。 (2) 学修成果の評価 学修成果については、客観性及び厳格性を確保しつつ、以下の要素・方法により評価する。 ①授業科目については、あらかじめ示す成績評価基準に沿って、各授業科目のシラバスに記載されている方法により、授業担当教員が評価する。 ②研究指導については、研究過程における達成度を、あらかじめ示す研究指導計画をもとに、論文報告会等を通じて、研究指導教員および本専攻所属教員により組織的に評価する。 ③学位請求論文については、あらかじめ示す論文審査基準、審査体制に基づき、評価を行う。 【博士後期課程】 (1) 教育課程の編成 / 教育内容・方法 ディプロマ・ポリシーの達成のために、「授業科目（コースワーク）」と「研究指導（リサーチワーク）」を適切に組み合わせた教育課程を体系的に編成する。授業科目は特殊研究を通して、命題の分析方法、かつ論理的・批判的に展開させる方法を、具体的な事例をもとに教授する。研究指導は作成する論文の命題を持続的に発展かつ深化させるために、文献調査、分析力、論理的思考の展開について、独創的に行えるように指導する。 (2) 学修成果の評価 学修成果については、客観性及び厳格性を確保しつつ、以下の要素・方法により評価する。 ①授業科目については、あらかじめ示す成績評価基準に沿って、各授業科目のシラバスに記載されている方法により、授業担当教員が評価する。 ②研究指導については、研究過程における達成度を、あらかじめ示す研究指導計画をもとに、論文報告会等を通じて、研究指導教員および本専攻所属教員により組織的に評価する。 ③学位請求論文については、あらかじめ示す論文審査基準、審査体制に基づき、評価を行う。
3. 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー） 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 英語教育に対して理解や知識のある者 (2) 基本的な英語の運用技能があり、かつ一層の向上を目指す者 (3) 異文化理解に対して意欲のある者 【博士後期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 英語教育に対して提言できる専門的な知識のある者 (2) 高度な英語運用能力への向上を目指す者 (3) 異文化理解に柔軟な姿勢を持ちかつ異文化受容に意欲のある者

別表第3 教育課程

文学研究科哲学専攻 博士前期課程 授業科目

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	哲学特論A	講義	1～2	2	
	選択	哲学特論B	講義	1～2	2	
	選択	哲学演習A	演習	1～2	2	
	選択	哲学演習B	演習	1～2	2	
	選択	古代中世哲学研究A	講義	1～2	2	
	選択	古代中世哲学研究B	講義	1～2	2	
	選択	古代中世哲学演習A	演習	1～2	2	
	選択	古代中世哲学演習B	演習	1～2	2	
	選択	近世哲学研究A	講義	1～2	2	
	選択	近世哲学研究B	講義	1～2	2	
	選択	近世哲学演習ⅠA	演習	1～2	2	
	選択	近世哲学演習ⅠB	演習	1～2	2	
	選択	近世哲学演習ⅡA	演習	1～2	2	
	選択	近世哲学演習ⅡB	演習	1～2	2	
	選択	現代哲学研究A	講義	1～2	2	
	選択	現代哲学研究B	講義	1～2	2	
	選択	現代哲学演習ⅠA	演習	1～2	2	
	選択	現代哲学演習ⅠB	演習	1～2	2	
	選択	現代哲学演習ⅡA	演習	1～2	2	
	選択	現代哲学演習ⅡB	演習	1～2	2	
	選択	論理学特論A	講義	1～2	2	
	選択	論理学特論B	講義	1～2	2	
	選択	倫理学特論A	講義	1～2	2	
	選択	倫理学特論B	講義	1～2	2	
	選択	日本哲学特論A	講義	1～2	2	
	選択	日本哲学特論B	講義	1～2	2	
	選択	日本哲学演習A	演習	1～2	2	
	選択	日本哲学演習B	演習	1～2	2	
	選択	比較哲学特論A	講義	1～2	2	
	選択	比較哲学特論B	講義	1～2	2	
	選択	中国哲学研究A	講義	1～2	2	
	選択	中国哲学研究B	講義	1～2	2	
	選択	現代哲学特殊演習	演習	1～2	2	
	選択	実践哲学特論A	講義	1～2	2	
	選択	実践哲学特論B	講義	1～2	2	

文学研究科哲学専攻 博士前期課程 研究指導

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	哲学研究指導ⅠA		1～2		
	選択	哲学研究指導ⅠB		1～2		
	選択	哲学研究指導ⅡA		1～2		
	選択	哲学研究指導ⅡB		1～2		
	選択	哲学研究指導ⅢA		1～2		
	選択	哲学研究指導ⅢB		1～2		
	選択	哲学研究指導ⅣA		1～2		
	選択	哲学研究指導ⅣB		1～2		
	選択	哲学研究指導ⅤA		1～2		
	選択	哲学研究指導ⅤB		1～2		
	選択	哲学研究指導ⅥA		1～2		
	選択	哲学研究指導ⅥB		1～2		
	選択	哲学研究指導ⅦA		1～2		
	選択	哲学研究指導ⅦB		1～2		
	選択	哲学研究指導ⅧA		1～2		
	選択	哲学研究指導ⅧB		1～2		

履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・修得することができる。
- 「演習」または「講義」は、同一科目を在学中2回以上履修・単位修得することができる。修得した単位は、修了要件の単位に充当する。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育上必要と認めるときは、学則第8条に基づき、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる（同一科目は1回目のみ修了要件として扱い、2回目以降の履修によって修得した成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない）。また、上記により履修し修得した単位は、学則第10条の2に基づく、本大学院に入学する前に修得し、本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなす単位（既修得単位）と合わせて、10単位を超えない範囲で修了要件に充当することができる。

文学研究科哲学専攻 博士後期課程 授業科目

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	哲学特殊研究ⅠA	講義	1～3	2	
	選択	哲学特殊研究ⅠB	講義	1～3	2	
	選択	哲学特殊研究ⅡA	講義	1～3	2	
	選択	哲学特殊研究ⅡB	講義	1～3	2	
	選択	哲学特殊研究ⅢA	講義	1～3	2	
	選択	哲学特殊研究ⅢB	講義	1～3	2	
	選択	哲学特殊研究ⅣA	講義	1～3	2	
	選択	哲学特殊研究ⅣB	講義	1～3	2	
	選択	哲学特殊研究ⅤA	講義	1～3	2	
	選択	哲学特殊研究ⅤB	講義	1～3	2	
	選択	哲学特殊研究ⅥA	講義	1～3	2	
	選択	哲学特殊研究ⅥB	講義	1～3	2	
	選択	哲学特殊研究ⅦA	講義	1～3	2	
	選択	哲学特殊研究ⅦB	講義	1～3	2	
	選択	哲学特殊研究ⅧA	講義	1～3	2	
	選択	哲学特殊研究ⅧB	講義	1～3	2	

文学研究科哲学専攻 博士後期課程 研究指導

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	哲学研究指導ⅠA		1～3		
	選択	哲学研究指導ⅠB		1～3		
	選択	哲学研究指導ⅡA		1～3		
	選択	哲学研究指導ⅡB		1～3		
	選択	哲学研究指導ⅢA		1～3		
	選択	哲学研究指導ⅢB		1～3		
	選択	哲学研究指導ⅣA		1～3		
	選択	哲学研究指導ⅣB		1～3		
	選択	哲学研究指導ⅤA		1～3		
	選択	哲学研究指導ⅤB		1～3		
	選択	哲学研究指導ⅥA		1～3		
	選択	哲学研究指導ⅥB		1～3		

履修方法

- 1 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 2 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・修得することができる。
- 3 本表に掲げたものの他、指導教授が研究指導上必要と認めた場合は、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる。

文学研究科インド哲学仏教学専攻 博士前期課程 授業科目

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
インド哲学領域	選択	インド哲学研究ⅠA	講義	1～2	2	
インド哲学領域	選択	インド哲学研究ⅠB	演習	1～2	2	
インド哲学領域	選択	インド哲学研究ⅡA	講義	1～2	2	
インド哲学領域	選択	インド哲学研究ⅡB	演習	1～2	2	
インド哲学領域	選択	インド哲学研究ⅢA	講義	1～2	2	
インド哲学領域	選択	インド哲学研究ⅢB	演習	1～2	2	
インド哲学領域	選択	インド哲学研究ⅣA	講義	1～2	2	
インド哲学領域	選択	インド哲学研究ⅣB	演習	1～2	2	
インド哲学領域	選択	インド哲学研究ⅤA	講義	1～2	2	
インド哲学領域	選択	インド哲学研究ⅤB	演習	1～2	2	
インド仏教領域	選択	インド仏教研究ⅠA	講義	1～2	2	
インド仏教領域	選択	インド仏教研究ⅠB	演習	1～2	2	
インド仏教領域	選択	インド仏教研究ⅡA	講義	1～2	2	
インド仏教領域	選択	インド仏教研究ⅡB	演習	1～2	2	
インド仏教領域	選択	インド仏教研究ⅢA	講義	1～2	2	
インド仏教領域	選択	インド仏教研究ⅢB	演習	1～2	2	
インド仏教領域	選択	インド仏教研究ⅣA	講義	1～2	2	
インド仏教領域	選択	インド仏教研究ⅣB	演習	1～2	2	
インド仏教領域	選択	インド仏教研究ⅤA	講義	1～2	2	
インド仏教領域	選択	インド仏教研究ⅤB	演習	1～2	2	
中国・日本仏教領域	選択	東アジア仏教研究ⅠA	講義	1～2	2	
中国・日本仏教領域	選択	東アジア仏教研究ⅠB	演習	1～2	2	
中国・日本仏教領域	選択	東アジア仏教研究ⅡA	講義	1～2	2	
中国・日本仏教領域	選択	東アジア仏教研究ⅡB	演習	1～2	2	
中国・日本仏教領域	選択	東アジア仏教研究ⅢA	講義	1～2	2	
中国・日本仏教領域	選択	東アジア仏教研究ⅢB	演習	1～2	2	
中国・日本仏教領域	選択	東アジア仏教研究ⅣA	講義	1～2	2	
中国・日本仏教領域	選択	東アジア仏教研究ⅣB	演習	1～2	2	
	選択	インド哲学仏教学特殊演習A	演習	1～2	2	
	選択	インド哲学仏教学特殊演習B	演習	1～2	2	

文学研究科インド哲学仏教学専攻 博士前期課程 研究指導

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	インド哲学研究指導ⅠA		1～2		
	選択	インド哲学研究指導ⅠB		1～2		
	選択	インド哲学研究指導ⅡA		1～2		
	選択	インド哲学研究指導ⅡB		1～2		
	選択	インド哲学研究指導ⅢA		1～2		
	選択	インド哲学研究指導ⅢB		1～2		
	選択	仏教学研究指導ⅠA		1～2		
	選択	仏教学研究指導ⅠB		1～2		
	選択	仏教学研究指導ⅡA		1～2		
	選択	仏教学研究指導ⅡB		1～2		
	選択	仏教学研究指導ⅢA		1～2		
	選択	仏教学研究指導ⅢB		1～2		
	選択	仏教学研究指導ⅣA		1～2		
	選択	仏教学研究指導ⅣB		1～2		

履修方法

- 1 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 2 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・修得することができる。
- 3 主指導教授が担当する「講義」および「演習」は、同一科目を在学中何回でも履修・単位修得することができる。ただし、3回目以降（長期履修学生および原級した場合等）の履修によって修得した成績及び、単位は認定されるが、修了要件としては扱わない。なお、該当する科目は大学院要覧において定める。
- 4 履修方法3以外の「講義」および「演習」は、在学中1回のみ履修・単位修得することができる。
- 5 本表に掲げたものの他、指導教授が教育上必要と認めるときは、学則第8条に基づき、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる（同一科目は1回目のみ修了要件として扱い、2回目以降の履修によって修得した成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない）。また、上記により履修し修得した単位は、学則第10条の2に基づく、本大学院に入学する前に修得し、本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなす単位（既修得単位）と合わせて、10単位を超えない範囲で修了要件に充当することができる。

文学研究科インド哲学仏教学専攻 博士後期課程 授業科目

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
インド哲学領域	選択	インド哲学特殊研究ⅠA	講義	1～3	2	
インド哲学領域	選択	インド哲学特殊研究ⅠB	演習	1～3	2	
インド哲学領域	選択	インド哲学特殊研究ⅡA	講義	1～3	2	
インド哲学領域	選択	インド哲学特殊研究ⅡB	演習	1～3	2	
インド哲学領域	選択	インド哲学特殊研究ⅢA	講義	1～3	2	
インド哲学領域	選択	インド哲学特殊研究ⅢB	演習	1～3	2	
仏教学領域	選択	仏教学特殊研究ⅠA	講義	1～3	2	
仏教学領域	選択	仏教学特殊研究ⅠB	演習	1～3	2	
仏教学領域	選択	仏教学特殊研究ⅡA	講義	1～3	2	
仏教学領域	選択	仏教学特殊研究ⅡB	演習	1～3	2	
仏教学領域	選択	仏教学特殊研究ⅢA	講義	1～3	2	
仏教学領域	選択	仏教学特殊研究ⅢB	演習	1～3	2	
仏教学領域	選択	仏教学特殊研究ⅣA	講義	1～3	2	
仏教学領域	選択	仏教学特殊研究ⅣB	演習	1～3	2	

文学研究科インド哲学仏教学専攻 博士後期課程 研究指導

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	インド哲学研究指導ⅠA		1～3		
	選択	インド哲学研究指導ⅠB		1～3		
	選択	インド哲学研究指導ⅡA		1～3		
	選択	インド哲学研究指導ⅡB		1～3		
	選択	インド哲学研究指導ⅢA		1～3		
	選択	インド哲学研究指導ⅢB		1～3		
	選択	仏教学研究指導ⅠA		1～3		
	選択	仏教学研究指導ⅠB		1～3		
	選択	仏教学研究指導ⅡA		1～3		
	選択	仏教学研究指導ⅡB		1～3		
	選択	仏教学研究指導ⅢA		1～3		
	選択	仏教学研究指導ⅢB		1～3		
	選択	仏教学研究指導ⅣA		1～3		
	選択	仏教学研究指導ⅣB		1～3		

履修方法

- 1 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること
- 2 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・修得することができる。
- 3 本表に掲げたものの他、指導教授が研究指導上必要と認めた場合は、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる。

文学研究科日本文学文化専攻 博士前期課程 授業科目

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	研究基礎論A	講義	1～2	2	
	選択	研究基礎論B	講義	1～2	2	
	選択	日本文学文化特論ⅠA	講義	1～2	2	
	選択	日本文学文化特論ⅠB	講義	1～2	2	
	選択	日本文学文化特論ⅡA	講義	1～2	2	
	選択	日本文学文化特論ⅡB	講義	1～2	2	
	選択	日本文学文化特論ⅢA	講義	1～2	2	
	選択	日本文学文化特論ⅢB	講義	1～2	2	
	選択	日本文学文化特論ⅣA	講義	1～2	2	
	選択	日本文学文化特論ⅣB	講義	1～2	2	
	選択	日本文学文化特論ⅤA	講義	1～2	2	
	選択	日本文学文化特論ⅤB	講義	1～2	2	
	選択	日本文学文化特論ⅥA	講義	1～2	2	
	選択	日本文学文化特論ⅥB	講義	1～2	2	
	選択	日本語学特論ⅠA	講義	1～2	2	
	選択	日本語学特論ⅠB	講義	1～2	2	
	選択	日本語学特論ⅡA	講義	1～2	2	
	選択	日本語学特論ⅡB	講義	1～2	2	
	選択	日本文学文化演習ⅠA	演習	1～2	2	
	選択	日本文学文化演習ⅠB	演習	1～2	2	
	選択	日本文学文化演習ⅡA	演習	1～2	2	
	選択	日本文学文化演習ⅡB	演習	1～2	2	
	選択	日本文学文化演習ⅢA	演習	1～2	2	
	選択	日本文学文化演習ⅢB	演習	1～2	2	
	選択	日本文学文化演習ⅣA	演習	1～2	2	
	選択	日本文学文化演習ⅣB	演習	1～2	2	
	選択	日本文学文化演習ⅤA	演習	1～2	2	
	選択	日本文学文化演習ⅤB	演習	1～2	2	
	選択	日本文学文化演習ⅥA	演習	1～2	2	
	選択	日本文学文化演習ⅥB	演習	1～2	2	
	選択	日本文学文化演習ⅦA	演習	1～2	2	
	選択	日本文学文化演習ⅦB	演習	1～2	2	
	選択	日本文学文化演習ⅧA	演習	1～2	2	
	選択	日本文学文化演習ⅧB	演習	1～2	2	
	選択	日本語学演習ⅠA	演習	1～2	2	
	選択	日本語学演習ⅠB	演習	1～2	2	
	選択	日本語学演習ⅡA	演習	1～2	2	
	選択	日本語学演習ⅡB	演習	1～2	2	
	選択	日本美術史A	講義	1～2	2	
	選択	日本美術史B	講義	1～2	2	
	選択	比較文学A	講義	1～2	2	
	選択	比較文学B	講義	1～2	2	
	選択	中国文学特論A	講義	1～2	2	
	選択	中国文学特論B	講義	1～2	2	

文学研究科日本文学文化専攻 博士前期課程 研究指導

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	日本文学文化研究指導ⅠA		1～2		
	選択	日本文学文化研究指導ⅠB		1～2		
	選択	日本文学文化研究指導ⅡA		1～2		
	選択	日本文学文化研究指導ⅡB		1～2		
	選択	日本文学文化研究指導ⅢA		1～2		
	選択	日本文学文化研究指導ⅢB		1～2		
	選択	日本文学文化研究指導ⅣA		1～2		
	選択	日本文学文化研究指導ⅣB		1～2		
	選択	日本文学文化研究指導ⅤA		1～2		
	選択	日本文学文化研究指導ⅤB		1～2		
	選択	日本文学文化研究指導ⅥA		1～2		
	選択	日本文学文化研究指導ⅥB		1～2		
	選択	日本文学文化研究指導ⅦA		1～2		
	選択	日本文学文化研究指導ⅦB		1～2		
	選択	日本文学文化研究指導ⅧA		1～2		
	選択	日本文学文化研究指導ⅧB		1～2		
	選択	日本文学文化研究指導ⅨA		1～2		
	選択	日本文学文化研究指導ⅨB		1～2		
	選択	日本語学研究指導ⅠA		1～2		
	選択	日本語学研究指導ⅠB		1～2		
	選択	日本語学研究指導ⅡA		1～2		
	選択	日本語学研究指導ⅡB		1～2		

履修方法

- 1 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 2 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・修得することができる。
- 3 主指導教授が担当する「演習」または「講義」は、同一科目を在学中何回でも履修・単位修得することができる。ただし、3回目以降（長期履修学生および原級した場合等）の履修によって修得した成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない。なお、該当する科目は大学院要覧において定める。
- 4 履修方法3以外の「演習」または「講義」は、在学中1回のみ履修・単位修得することができる。
- 5 本表に掲げたものの他、指導教授が教育上必要と認めるときは、学則第8条に基づき、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる（同一科目は1回目のみ修了要件として扱い、2回目以降の履修によって修得した成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない）。また、上記により履修し修得した単位は、学則第10条の2に基づく、本大学院に入学する前に修得し、本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなす単位（既修得単位）と合わせて、10単位を超えない範囲で修了要件に充当することができる。

文学研究科日本文学文化専攻 博士後期課程 授業科目

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	日本文学文化特殊研究ⅠA	講義	1～3	2	
	選択	日本文学文化特殊研究ⅠB	講義	1～3	2	
	選択	日本文学文化特殊研究ⅡA	講義	1～3	2	
	選択	日本文学文化特殊研究ⅡB	講義	1～3	2	
	選択	日本文学文化特殊研究ⅢA	講義	1～3	2	
	選択	日本文学文化特殊研究ⅢB	講義	1～3	2	
	選択	日本文学文化特殊研究ⅣA	講義	1～3	2	
	選択	日本文学文化特殊研究ⅣB	講義	1～3	2	
	選択	日本文学文化特殊研究ⅤA	講義	1～3	2	
	選択	日本文学文化特殊研究ⅤB	講義	1～3	2	
	選択	日本文学文化特殊研究ⅥA	講義	1～3	2	
	選択	日本文学文化特殊研究ⅥB	講義	1～3	2	
	選択	日本文学文化特殊研究ⅦA	講義	1～3	2	
	選択	日本文学文化特殊研究ⅦB	講義	1～3	2	
	選択	日本文学文化特殊研究ⅧA	講義	1～3	2	
	選択	日本文学文化特殊研究ⅧB	講義	1～3	2	
	選択	日本文学文化特殊研究ⅨA	講義	1～3	2	
	選択	日本文学文化特殊研究ⅨB	講義	1～3	2	
	選択	日本文学文化特殊研究ⅩA	講義	1～3	2	
	選択	日本文学文化特殊研究ⅩB	講義	1～3	2	
	選択	日本文学文化特殊研究ⅩⅠA	講義	1～3	2	
	選択	日本文学文化特殊研究ⅩⅠB	講義	1～3	2	
	選択	日本文学文化特殊研究ⅩⅡA	講義	1～3	2	
	選択	日本文学文化特殊研究ⅩⅡB	講義	1～3	2	
	選択	日本文学文化特殊研究ⅩⅢA	講義	1～3	2	
	選択	日本文学文化特殊研究ⅩⅢB	講義	1～3	2	
	選択	日本文学文化特殊研究ⅩⅣA	講義	1～3	2	
	選択	日本文学文化特殊研究ⅩⅣB	講義	1～3	2	
	選択	日本語学特殊研究ⅠA	講義	1～3	2	
	選択	日本語学特殊研究ⅠB	講義	1～3	2	
	選択	日本語学特殊研究ⅡA	講義	1～3	2	
	選択	日本語学特殊研究ⅡB	講義	1～3	2	
	選択	日本語学特殊研究ⅢA	講義	1～3	2	
	選択	日本語学特殊研究ⅢB	講義	1～3	2	
	選択	日本語学特殊研究ⅣA	講義	1～3	2	
	選択	日本語学特殊研究ⅣB	講義	1～3	2	

文学研究科日本文学文化専攻 博士後期課程 研究指導

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	日本文学文化研究指導ⅠA		1～3		
	選択	日本文学文化研究指導ⅠB		1～3		
	選択	日本文学文化研究指導ⅡA		1～3		
	選択	日本文学文化研究指導ⅡB		1～3		
	選択	日本文学文化研究指導ⅢA		1～3		
	選択	日本文学文化研究指導ⅢB		1～3		
	選択	日本文学文化研究指導ⅣA		1～3		
	選択	日本文学文化研究指導ⅣB		1～3		
	選択	日本文学文化研究指導ⅤA		1～3		
	選択	日本文学文化研究指導ⅤB		1～3		
	選択	日本文学文化研究指導ⅥA		1～3		
	選択	日本文学文化研究指導ⅥB		1～3		
	選択	日本文学文化研究指導ⅦA		1～3		
	選択	日本文学文化研究指導ⅦB		1～3		
	選択	日本文学文化研究指導ⅧA		1～3		
	選択	日本文学文化研究指導ⅧB		1～3		
	選択	日本文学文化研究指導ⅨA		1～3		
	選択	日本文学文化研究指導ⅨB		1～3		
	選択	日本語学研究指導ⅠA		1～3		
	選択	日本語学研究指導ⅠB		1～3		
	選択	日本語学研究指導ⅡA		1～3		
	選択	日本語学研究指導ⅡB		1～3		

履修方法

- 1 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 2 指導教授は、主指導教授 1 名・副指導教授 1 名の計 2 名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が 2 名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に 3 科目（主指導教授 1 名・副指導教授 2 名）を上限として、履修・修得することができる。
- 3 本表に掲げたものの他、指導教授が研究指導上必要と認めた場合は、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる。

文学研究科中国哲学専攻 博士前期課程 授業科目

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	中国哲学特論Ⅰ	講義	1～2	2	
	選択	中国哲学特論ⅡA	講義	1～2	2	
	選択	中国哲学特論ⅡB	講義	1～2	2	
	選択	中国哲学特論ⅢA	講義	1～2	2	
	選択	中国哲学特論ⅢB	講義	1～2	2	
	選択	中国哲学演習ⅠA	演習	1～2	2	
	選択	中国哲学演習ⅠB	演習	1～2	2	
	選択	中国哲学演習ⅡA	演習	1～2	2	
	選択	中国哲学演習ⅡB	演習	1～2	2	
	選択	中国哲学演習ⅢA	演習	1～2	2	
	選択	中国哲学演習ⅢB	演習	1～2	2	
	選択	中国哲学研究ⅠA	講義	1～2	2	
	選択	中国哲学研究ⅠB	講義	1～2	2	
	選択	中国哲学研究ⅡA	講義	1～2	2	
	選択	中国哲学研究ⅡB	講義	1～2	2	
	選択	中国哲学研究ⅢA	講義	1～2	2	
	選択	中国哲学研究ⅢB	講義	1～2	2	
	選択	中国文学特論ⅠA	講義	1～2	2	
	選択	中国文学特論ⅠB	講義	1～2	2	
	選択	中国文学特論ⅡA	講義	1～2	2	
	選択	中国文学特論ⅡB	講義	1～2	2	
	選択	中国文学特論ⅢA	講義	1～2	2	
	選択	中国文学特論ⅢB	講義	1～2	2	
	選択	中国文学演習ⅠA	演習	1～2	2	
	選択	中国文学演習ⅠB	演習	1～2	2	
	選択	中国文学演習ⅡA	演習	1～2	2	
	選択	中国文学演習ⅡB	演習	1～2	2	
	選択	中国語学研究ⅠA	講義	1～2	2	
	選択	中国語学研究ⅠB	講義	1～2	2	
	選択	中国語学研究ⅡA	講義	1～2	2	
	選択	中国語学研究ⅡB	講義	1～2	2	
	選択	哲学特論A	講義	1～2	2	
	選択	哲学特論B	講義	1～2	2	
	選択	比較哲学特論A	講義	1～2	2	
	選択	比較哲学特論B	講義	1～2	2	
	選択	仏教学特論A	講義	1～2	2	
	選択	仏教学特論B	講義	1～2	2	
	選択	東洋史学特論A	講義	1～2	2	
	選択	東洋史学特論B	講義	1～2	2	
	選択	文献研究（東洋）A	講義	1～2	2	
	選択	文献研究（東洋）B	講義	1～2	2	

文学研究科中国哲学専攻 博士前期課程 研究指導

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	中国哲学研究指導ⅠA		1～2		
	選択	中国哲学研究指導ⅠB		1～2		
	選択	中国哲学研究指導ⅡA		1～2		
	選択	中国哲学研究指導ⅡB		1～2		
	選択	中国哲学研究指導ⅢA		1～2		
	選択	中国哲学研究指導ⅢB		1～2		
	選択	中国哲学研究指導ⅣA		1～2		
	選択	中国哲学研究指導ⅣB		1～2		
	選択	中国哲学研究指導ⅤA		1～2		
	選択	中国哲学研究指導ⅤB		1～2		

履修方法

- 1 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 2 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・修得することができる。
- 3 「演習」または「講義」は、同一科目を在学中2回以上履修・単位修得することができる。修得した単位は、修了要件の単位に充当する。
- 4 本表に掲げたものの他、指導教授が教育上必要と認めるときは、学則第8条に基づき、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる（同一科目は1回目のみ修了要件として扱い、2回目以降の履修によって修得した成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない）。また、上記により履修し修得した単位は、学則第10条の2に基づく、本大学院に入学する前に修得し、本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなす単位（既修得単位）と合わせて、10単位を超えない範囲で修了要件に充当することができる。

文学研究科中国哲学専攻 博士後期課程 授業科目

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	中国哲学特殊研究ⅠA	講義	1～3	2	
	選択	中国哲学特殊研究ⅠB	講義	1～3	2	
	選択	中国哲学特殊研究ⅡA	講義	1～3	2	
	選択	中国哲学特殊研究ⅡB	講義	1～3	2	
	選択	中国哲学特殊研究ⅢA	講義	1～3	2	
	選択	中国哲学特殊研究ⅢB	講義	1～3	2	
	選択	中国哲学特殊研究ⅣA	講義	1～3	2	
	選択	中国哲学特殊研究ⅣB	講義	1～3	2	
	選択	中国哲学特殊研究ⅤA	講義	1～3	2	
	選択	中国哲学特殊研究ⅤB	講義	1～3	2	

文学研究科中国哲学専攻 博士後期課程 研究指導

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	中国哲学研究指導ⅠA		1～3		
	選択	中国哲学研究指導ⅠB		1～3		
	選択	中国哲学研究指導ⅡA		1～3		
	選択	中国哲学研究指導ⅡB		1～3		
	選択	中国哲学研究指導ⅢA		1～3		
	選択	中国哲学研究指導ⅢB		1～3		
	選択	中国哲学研究指導ⅣA		1～3		
	選択	中国哲学研究指導ⅣB		1～3		
	選択	中国哲学研究指導ⅤA		1～3		
	選択	中国哲学研究指導ⅤB		1～3		

履修方法

- 1 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 2 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・修得することができる。
- 3 本表に掲げたものの他、指導教授が研究指導上必要と認めた場合は、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる。

文学研究科英文学専攻 博士前期課程 授業科目

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	英文学演習ⅠA	演習	1～2	2	
	選択	英文学演習ⅠB	演習	1～2	2	
	選択	英文学演習ⅡA	演習	1～2	2	
	選択	英文学演習ⅡB	演習	1～2	2	
	選択	米文学演習A	演習	1～2	2	
	選択	米文学演習B	演習	1～2	2	
	選択	比較文学演習A	演習	1～2	2	
	選択	比較文学演習B	演習	1～2	2	
	選択	英語学演習A	演習	1～2	2	
	選択	英語学演習B	演習	1～2	2	
	選択	英文学特論ⅠA	講義	1～2	2	
	選択	英文学特論ⅠB	講義	1～2	2	
	選択	英文学特論ⅡA	講義	1～2	2	
	選択	英文学特論ⅡB	講義	1～2	2	
	選択	英文学特論ⅢA	講義	1～2	2	
	選択	英文学特論ⅢB	講義	1～2	2	
	選択	米文学特論A	講義	1～2	2	
	選択	米文学特論B	講義	1～2	2	
	選択	英語学特論ⅠA	講義	1～2	2	
	選択	英語学特論ⅠB	講義	1～2	2	
	選択	英語学特論ⅡA	講義	1～2	2	
	選択	英語学特論ⅡB	講義	1～2	2	
	選択	英語学特論ⅢA	講義	1～2	2	
	選択	英語学特論ⅢB	講義	1～2	2	
	選択	英文学思想A	講義	1～2	2	
	選択	英文学思想B	講義	1～2	2	
	選択	米文学思想A	講義	1～2	2	
	選択	米文学思想B	講義	1～2	2	

文学研究科英文学専攻 博士前期課程 研究指導

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	英文学研究指導ⅠA		1～2		
	選択	英文学研究指導ⅠB		1～2		
	選択	英文学研究指導ⅡA		1～2		
	選択	英文学研究指導ⅡB		1～2		
	選択	米文学研究指導ⅠA		1～2		
	選択	米文学研究指導ⅠB		1～2		
	選択	米文学研究指導ⅡA		1～2		
	選択	米文学研究指導ⅡB		1～2		
	選択	比較文学研究指導A		1～2		
	選択	比較文学研究指導B		1～2		
	選択	英語学研究指導ⅠA		1～2		
	選択	英語学研究指導ⅠB		1～2		
	選択	英語学研究指導ⅡA		1～2		
	選択	英語学研究指導ⅡB		1～2		

履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・修得することができる。
- 主指導教授が担当する「演習」または「講義」は、同一科目を在学中何回でも履修・単位修得することができる。ただし、3回目以降（長期履修学生および原級した場合等）の履修によって修得した成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない。なお、該当する科目は大学院要覧において定める。
- 履修方法3以外の「演習」または「講義」は、在学中1回のみ履修・単位修得することができる。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育上必要と認めるときは、学則第8条に基づき、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる（同一科目は1回目のみ修了要件として扱い、2回目以降の履修によって修得した成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない）。また、上記により履修し修得した単位は、学則第10条の2に基づく、本大学院に入学する前に修得し、本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなす単位（既修得単位）と合わせて、10単位を超えない範囲で修了要件に充当することができる。

文学研究科英文学専攻 博士後期課程 授業科目

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	英文学特殊研究ⅠA	講義	1～3	2	
	選択	英文学特殊研究ⅠB	講義	1～3	2	
	選択	英文学特殊研究ⅡA	講義	1～3	2	
	選択	英文学特殊研究ⅡB	講義	1～3	2	
	選択	英文学特殊研究ⅢA	講義	1～3	2	
	選択	英文学特殊研究ⅢB	講義	1～3	2	
	選択	米文学特殊研究ⅠA	講義	1～3	2	
	選択	米文学特殊研究ⅠB	講義	1～3	2	
	選択	米文学特殊研究ⅡA	講義	1～3	2	
	選択	米文学特殊研究ⅡB	講義	1～3	2	
	選択	比較文学特殊研究A	講義	1～3	2	
	選択	比較文学特殊研究B	講義	1～3	2	
	選択	英語学特殊研究ⅠA	講義	1～3	2	
	選択	英語学特殊研究ⅠB	講義	1～3	2	
	選択	英語学特殊研究ⅡA	講義	1～3	2	
	選択	英語学特殊研究ⅡB	講義	1～3	2	

文学研究科英文学専攻 博士後期課程 研究指導

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	英文学研究指導ⅠA		1～3		
	選択	英文学研究指導ⅠB		1～3		
	選択	英文学研究指導ⅡA		1～3		
	選択	英文学研究指導ⅡB		1～3		
	選択	米文学研究指導ⅠA		1～3		
	選択	米文学研究指導ⅠB		1～3		
	選択	米文学研究指導ⅡA		1～3		
	選択	米文学研究指導ⅡB		1～3		
	選択	比較文学研究指導A		1～3		
	選択	比較文学研究指導B		1～3		
	選択	英語学研究指導ⅠA		1～3		
	選択	英語学研究指導ⅠB		1～3		
	選択	英語学研究指導ⅡA		1～3		
	選択	英語学研究指導ⅡB		1～3		

履修方法

- 1 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 2 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・修得することができる。
- 3 本表に掲げたものの他、指導教授が研究指導上必要と認めた場合は、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる。

文学研究科史学専攻 博士前期課程 授業科目

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	日本史学特論ⅠA	講義	1～2	2	
	選択	日本史学特論ⅠB	講義	1～2	2	
	選択	日本史学特論ⅡA	講義	1～2	2	
	選択	日本史学特論ⅡB	講義	1～2	2	
	選択	日本史学特論ⅢA	講義	1～2	2	
	選択	日本史学特論ⅢB	講義	1～2	2	
	選択	日本史学特論ⅣA	講義	1～2	2	
	選択	日本史学特論ⅣB	講義	1～2	2	
	選択	日本史学特論ⅤA	講義	1～2	2	
	選択	日本史学特論ⅤB	講義	1～2	2	
	選択	日本史学演習ⅠA	演習	1～2	2	
	選択	日本史学演習ⅠB	演習	1～2	2	
	選択	日本史学演習ⅡA	演習	1～2	2	
	選択	日本史学演習ⅡB	演習	1～2	2	
	選択	日本史学演習ⅢA	演習	1～2	2	
	選択	日本史学演習ⅢB	演習	1～2	2	
	選択	日本史学演習ⅣA	演習	1～2	2	
	選択	日本史学演習ⅣB	演習	1～2	2	
	選択	日本史学演習ⅤA	演習	1～2	2	
	選択	日本史学演習ⅤB	演習	1～2	2	
	選択	東洋史学特論ⅠA	講義	1～2	2	
	選択	東洋史学特論ⅠB	講義	1～2	2	
	選択	東洋史学特論ⅡA	講義	1～2	2	
	選択	東洋史学特論ⅡB	講義	1～2	2	
	選択	東洋史学特論ⅢA	講義	1～2	2	
	選択	東洋史学特論ⅢB	講義	1～2	2	
	選択	東洋史学演習ⅠA	演習	1～2	2	
	選択	東洋史学演習ⅠB	演習	1～2	2	
	選択	東洋史学演習ⅡA	演習	1～2	2	
	選択	東洋史学演習ⅡB	演習	1～2	2	
	選択	東洋史学演習ⅢA	演習	1～2	2	
	選択	東洋史学演習ⅢB	演習	1～2	2	
	選択	西洋史学特論ⅠA	講義	1～2	2	
	選択	西洋史学特論ⅠB	講義	1～2	2	
	選択	西洋史学特論ⅡA	講義	1～2	2	
	選択	西洋史学特論ⅡB	講義	1～2	2	
	選択	西洋史学特論ⅢA	講義	1～2	2	
	選択	西洋史学特論ⅢB	講義	1～2	2	
	選択	西洋史学特論ⅣA	講義	1～2	2	
	選択	西洋史学特論ⅣB	講義	1～2	2	
	選択	西洋史学演習ⅠA	演習	1～2	2	
	選択	西洋史学演習ⅠB	演習	1～2	2	
	選択	西洋史学演習ⅡA	演習	1～2	2	
	選択	西洋史学演習ⅡB	演習	1～2	2	
	選択	西洋史学演習ⅢA	演習	1～2	2	
	選択	西洋史学演習ⅢB	演習	1～2	2	
	選択	西洋史学演習ⅣA	演習	1～2	2	
	選択	西洋史学演習ⅣB	演習	1～2	2	
	選択	考古学特論A	講義	1～2	2	
	選択	考古学特論B	講義	1～2	2	
	選択	文献研究（日本）A	講義	1～2	2	
	選択	文献研究（日本）B	講義	1～2	2	
	選択	文献研究（東洋）A	講義	1～2	2	
	選択	文献研究（東洋）B	講義	1～2	2	
	選択	文献研究（西洋）A	講義	1～2	2	
	選択	文献研究（西洋）B	講義	1～2	2	
	選択	史料管理学	講義	1～2	4	

文学研究科史学専攻 博士前期課程 研究指導

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	日本史学研究指導ⅠA		1～2		
	選択	日本史学研究指導ⅠB		1～2		
	選択	日本史学研究指導ⅡA		1～2		
	選択	日本史学研究指導ⅡB		1～2		
	選択	日本史学研究指導ⅢA		1～2		
	選択	日本史学研究指導ⅢB		1～2		
	選択	日本史学研究指導ⅣA		1～2		
	選択	日本史学研究指導ⅣB		1～2		
	選択	日本史学研究指導ⅤA		1～2		
	選択	日本史学研究指導ⅤB		1～2		
	選択	東洋史学研究指導ⅠA		1～2		
	選択	東洋史学研究指導ⅠB		1～2		
	選択	東洋史学研究指導ⅡA		1～2		
	選択	東洋史学研究指導ⅡB		1～2		
	選択	東洋史学研究指導ⅢA		1～2		
	選択	東洋史学研究指導ⅢB		1～2		
	選択	西洋史学研究指導ⅠA		1～2		
	選択	西洋史学研究指導ⅠB		1～2		
	選択	西洋史学研究指導ⅡA		1～2		
	選択	西洋史学研究指導ⅡB		1～2		
	選択	西洋史学研究指導ⅢA		1～2		
	選択	西洋史学研究指導ⅢB		1～2		
	選択	西洋史学研究指導ⅣA		1～2		
	選択	西洋史学研究指導ⅣB		1～2		

履修方法

- 1 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
 - 2 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・修得することができる。
 - 3 「演習」または「講義」は、同一科目を在学中2回以上履修・単位修得することができる。修得した単位は、修了要件の単位に充当する。
 - 4 本表に掲げたものの他、指導教授が教育上必要と認めるときは、学則第8条に基づき、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる（同一科目は1回目のみ修了要件として扱い、2回目以降の履修によって修得した成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない）。
- また、上記により履修し修得した単位は、学則第10条の2に基づく、本大学院に入学する前に修得し、本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなす単位（既修得単位）と合わせて、10単位を超えない範囲で修了要件に充当することができる。

文学研究科史学専攻 博士後期課程 授業科目

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	日本史学特殊研究ⅠA	講義	1～3	2	
	選択	日本史学特殊研究ⅠB	講義	1～3	2	
	選択	日本史学特殊研究ⅡA	講義	1～3	2	
	選択	日本史学特殊研究ⅡB	講義	1～3	2	
	選択	日本史学特殊研究ⅢA	講義	1～3	2	
	選択	日本史学特殊研究ⅢB	講義	1～3	2	
	選択	日本史学特殊研究ⅣA	講義	1～3	2	
	選択	日本史学特殊研究ⅣB	講義	1～3	2	
	選択	日本史学特殊研究ⅤA	講義	1～3	2	
	選択	日本史学特殊研究ⅤB	講義	1～3	2	
	選択	東洋史学特殊研究ⅠA	講義	1～3	2	
	選択	東洋史学特殊研究ⅠB	講義	1～3	2	
	選択	東洋史学特殊研究ⅡA	講義	1～3	2	
	選択	東洋史学特殊研究ⅡB	講義	1～3	2	
	選択	東洋史学特殊研究ⅢA	講義	1～3	2	
	選択	東洋史学特殊研究ⅢB	講義	1～3	2	
	選択	西洋史学特殊研究ⅠA	講義	1～3	2	
	選択	西洋史学特殊研究ⅠB	講義	1～3	2	
	選択	西洋史学特殊研究ⅡA	講義	1～3	2	
	選択	西洋史学特殊研究ⅡB	講義	1～3	2	
	選択	西洋史学特殊研究ⅢA	講義	1～3	2	
	選択	西洋史学特殊研究ⅢB	講義	1～3	2	
	選択	西洋史学特殊研究ⅣA	講義	1～3	2	
	選択	西洋史学特殊研究ⅣB	講義	1～3	2	

文学研究科史学専攻 博士後期課程 研究指導

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	日本史学研究指導ⅠA		1～3		
	選択	日本史学研究指導ⅠB		1～3		
	選択	日本史学研究指導ⅡA		1～3		
	選択	日本史学研究指導ⅡB		1～3		
	選択	日本史学研究指導ⅢA		1～3		
	選択	日本史学研究指導ⅢB		1～3		
	選択	日本史学研究指導ⅣA		1～3		
	選択	日本史学研究指導ⅣB		1～3		
	選択	日本史学研究指導ⅤA		1～3		
	選択	日本史学研究指導ⅤB		1～3		
	選択	東洋史学研究指導ⅠA		1～3		
	選択	東洋史学研究指導ⅠB		1～3		
	選択	東洋史学研究指導ⅡA		1～3		
	選択	東洋史学研究指導ⅡB		1～3		
	選択	東洋史学研究指導ⅢA		1～3		
	選択	東洋史学研究指導ⅢB		1～3		
	選択	西洋史学研究指導ⅠA		1～3		
	選択	西洋史学研究指導ⅠB		1～3		
	選択	西洋史学研究指導ⅡA		1～3		
	選択	西洋史学研究指導ⅡB		1～3		
	選択	西洋史学研究指導ⅢA		1～3		
	選択	西洋史学研究指導ⅢB		1～3		
	選択	西洋史学研究指導ⅣA		1～3		
	選択	西洋史学研究指導ⅣB		1～3		

履修方法

- 1 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 2 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・修得することができる。
- 3 本表に掲げたものの他、指導教授が研究指導上必要と認めた場合は、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる。

文学研究科教育学専攻 博士前期課程 授業科目

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	学校教育研究特殊講義 A	講義	1～2	2	
	選択	学校教育研究特殊講義 B	講義	1～2	2	
	選択	学校教育研究演習 A	演習	1～2	2	
	選択	学校教育研究演習 B	演習	1～2	2	
	選択	教育学説研究特殊講義 A	講義	1～2	2	
	選択	教育学説研究特殊講義 B	講義	1～2	2	
	選択	教育学説研究演習 A	演習	1～2	2	
	選択	教育学説研究演習 B	演習	1～2	2	
	選択	教育学説史研究特殊講義 A	講義	1～2	2	
	選択	教育学説史研究特殊講義 B	講義	1～2	2	
	選択	比較教育史演習 A	演習	1～2	2	
	選択	比較教育史演習 B	演習	1～2	2	
	選択	発達障害児教育研究特殊講義 A	講義	1～2	2	
	選択	発達障害児教育研究特殊講義 B	講義	1～2	2	
	選択	発達障害児教育研究演習 A	演習	1～2	2	
	選択	発達障害児教育研究演習 B	演習	1～2	2	
	選択	発達障害児臨床心理研究特殊講義 A	講義	1～2	2	
	選択	発達障害児臨床心理研究特殊講義 B	講義	1～2	2	
	選択	学習指導論特殊講義 A	講義	1～2	2	
	選択	学習指導論特殊講義 B	講義	1～2	2	
	選択	学習指導論研究演習 A	演習	1～2	2	
	選択	学習指導論研究演習 B	演習	1～2	2	
	選択	心理査定法特殊講義 A	講義	1～2	2	
	選択	心理査定法特殊講義 B	講義	1～2	2	
	選択	臨床教育心理学特殊講義 A	講義	1～2	2	
	選択	臨床教育心理学特殊講義 B	講義	1～2	2	
	選択	臨床教育心理学研究演習 A	演習	1～2	2	
	選択	臨床教育心理学研究演習 B	演習	1～2	2	
	選択	臨床教育心理治療法特殊講義	講義	1～2	2	
	選択	カウンセリング実習	演習	1～2	2	
	選択	心理発達学特殊講義 A	講義	1～2	2	
	選択	心理発達学特殊講義 B	講義	1～2	2	
	選択	心理適応論特殊講義 A	講義	1～2	2	
	選択	心理適応論特殊講義 B	講義	1～2	2	
	選択	心理適応論研究演習 A	演習	1～2	2	
	選択	心理適応論研究演習 B	演習	1～2	2	
	選択	学習心理学特殊講義 A	講義	1～2	2	
	選択	学習心理学特殊講義 B	講義	1～2	2	
	選択	生徒指導・進路指導特殊講義	講義	1～2	2	
	選択	生涯学習の研究特殊講義 A	講義	1～2	2	
	選択	生涯学習の研究特殊講義 B	講義	1～2	2	
	選択	生涯学習計画の研究演習 A	演習	1～2	2	
	選択	生涯学習計画の研究演習 B	演習	1～2	2	
	選択	教育社会学研究特殊講義 A	講義	1～2	2	
	選択	教育社会学研究特殊講義 B	講義	1～2	2	
	選択	女性学の研究演習 A	演習	1～2	2	
	選択	女性学の研究演習 B	演習	1～2	2	
	選択	生活文化研究特殊講義 A	講義	1～2	2	
	選択	生活文化研究特殊講義 B	講義	1～2	2	
	選択	生活文化研究演習 A	演習	1～2	2	
	選択	生活文化研究演習 B	演習	1～2	2	
	選択	教育行財政学特殊講義 A	講義	1～2	2	
	選択	教育行財政学特殊講義 B	講義	1～2	2	
	選択	教育行財政学研究演習 A	演習	1～2	2	
	選択	教育行財政学研究演習 B	演習	1～2	2	
	選択	授業分析論特殊講義	講義	1～2	2	
	選択	環境教育論特殊講義	講義	1～2	2	
	選択	教育文化論特殊講義	講義	1～2	2	
	選択	比較教育史特殊講義	講義	1～2	2	
	選択	教育心理学特殊講義	講義	1～2	2	
	選択	教育相談学特殊講義	講義	1～2	2	
	選択	国語科教育研究演習	演習	1～2	2	

	選択	社会科教育研究演習	演習	1～2	2	
	選択	算数・数学科教育特殊講義	講義	1～2	2	
	選択	算数・数学科教育研究演習	演習	1～2	2	
	選択	理科教育研究演習	演習	1～2	2	
	選択	音楽科教育研究演習	演習	1～2	2	
	選択	図画工作・美術科教育研究演習	演習	1～2	2	

文学研究科教育学専攻 博士前期課程 研究指導

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	教育学研究指導ⅠA		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅠB		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅡA		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅡB		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅢA		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅢB		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅣA		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅣB		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅤA		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅤB		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅥA		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅥB		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅦA		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅦB		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅧA		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅧB		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅨA		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅨB		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅩA		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅩB		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅪA		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅪB		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅫA		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅫB		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅬA		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅬB		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅭA		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅭB		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅮA		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅮB		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅯA		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅯB		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅰA		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅰB		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅱA		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅱB		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅲA		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅲB		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅳA		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅳB		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅴA		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅴB		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅵA		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅵB		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅶA		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅶB		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅷA		1～2		
	選択	教育学研究指導ⅷB		1～2		

履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・修得することができる。
- 主指導教授が担当する「演習」および「講義」は、同一科目を在学中何回でも履修・単位修得することができる。ただし、3回目以降（長期履修学生および原級した場合等）の履修によって修得した成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない。なお、該当する科目は大学院要覧において定める。
- 履修方法3以外の「演習」または「講義」は、同一科目を在学中何回でも履修・単位修得することができるが、この場合、修了単位として認められるのは、最初に修得した成績および単位のみとする。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育上必要と認めるときは、学則第8条に基づき、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる（同一科目は1回目のみ修了要件として扱い、2回目以降の履修によって修得した成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない）。また、上記により履修し修得した単位は、学則第10条の2に基づく、本大学院に入学する前に修得し、本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなす単位（既

修得単位) と合わせて、10単位を超えない範囲で修了要件に充当することができる。

文学研究科教育学専攻 博士後期課程 授業科目

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	教育学特殊研究ⅠA	講義	1～3	2	
	選択	教育学特殊研究ⅠB	講義	1～3	2	
	選択	教育学特殊研究ⅡA	講義	1～3	2	
	選択	教育学特殊研究ⅡB	講義	1～3	2	
	選択	教育学特殊研究ⅢA	講義	1～3	2	
	選択	教育学特殊研究ⅢB	講義	1～3	2	
	選択	教育学特殊研究ⅣA	講義	1～3	2	
	選択	教育学特殊研究ⅣB	講義	1～3	2	
	選択	教育学特殊研究ⅤA	講義	1～3	2	
	選択	教育学特殊研究ⅤB	講義	1～3	2	
	選択	教育学特殊研究ⅥA	講義	1～3	2	
	選択	教育学特殊研究ⅥB	講義	1～3	2	
	選択	教育学特殊研究ⅦA	講義	1～3	2	
	選択	教育学特殊研究ⅦB	講義	1～3	2	
	選択	教育学特殊研究ⅧA	講義	1～3	2	
	選択	教育学特殊研究ⅧB	講義	1～3	2	
	選択	教育学特殊研究ⅨA	講義	1～3	2	
	選択	教育学特殊研究ⅨB	講義	1～3	2	
	選択	教育学特殊研究ⅩA	講義	1～3	2	
	選択	教育学特殊研究ⅩB	講義	1～3	2	
	選択	教育学特殊研究ⅩⅠA	講義	1～3	2	
	選択	教育学特殊研究ⅩⅠB	講義	1～3	2	
	選択	教育学特殊研究ⅩⅡA	講義	1～3	2	
	選択	教育学特殊研究ⅩⅡB	講義	1～3	2	
	選択	教育学特殊研究ⅩⅢA	講義	1～3	2	
	選択	教育学特殊研究ⅩⅢB	講義	1～3	2	

文学研究科教育学専攻 博士後期課程 研究指導

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	教育学研究指導ⅠA		1～3		
	選択	教育学研究指導ⅠB		1～3		
	選択	教育学研究指導ⅡA		1～3		
	選択	教育学研究指導ⅡB		1～3		
	選択	教育学研究指導ⅢA		1～3		
	選択	教育学研究指導ⅢB		1～3		
	選択	教育学研究指導ⅣA		1～3		
	選択	教育学研究指導ⅣB		1～3		
	選択	教育学研究指導ⅤA		1～3		
	選択	教育学研究指導ⅤB		1～3		
	選択	教育学研究指導ⅥA		1～3		
	選択	教育学研究指導ⅥB		1～3		
	選択	教育学研究指導ⅦA		1～3		
	選択	教育学研究指導ⅦB		1～3		
	選択	教育学研究指導ⅧA		1～3		
	選択	教育学研究指導ⅧB		1～3		
	選択	教育学研究指導ⅨA		1～3		
	選択	教育学研究指導ⅨB		1～3		
	選択	教育学研究指導ⅩA		1～3		
	選択	教育学研究指導ⅩB		1～3		
	選択	教育学研究指導ⅩⅠA		1～3		
	選択	教育学研究指導ⅩⅠB		1～3		
	選択	教育学研究指導ⅩⅡA		1～3		
	選択	教育学研究指導ⅩⅡB		1～3		
	選択	教育学研究指導ⅩⅢA		1～3		
	選択	教育学研究指導ⅩⅢB		1～3		

履修方法

- 1 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 2 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修することができる。
- 3 本表に掲げたものの他、指導教授が研究指導上必要と認めた場合は、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる。

文学研究科英語コミュニケーション専攻 博士前期課程 授業科目

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	英語文法分析演習A	演習	1～2	2	
	選択	英語文法分析演習B	演習	1～2	2	
	選択	日英対照言語論演習A	演習	1～2	2	
	選択	日英対照言語論演習B	演習	1～2	2	
	選択	語用論演習A	演習	1～2	2	
	選択	語用論演習B	演習	1～2	2	
	選択	翻訳・通訳論演習A	演習	1～2	2	
	選択	翻訳・通訳論演習B	演習	1～2	2	
	選択	異文化コミュニケーションA	講義	1～2	2	
	選択	異文化コミュニケーションB	講義	1～2	2	
	選択	スピーチコミュニケーションA	講義	1～2	2	
	選択	スピーチコミュニケーションB	講義	1～2	2	
	選択	英語文学・英語文化A	講義	1～2	2	
	選択	英語文学・英語文化B	講義	1～2	2	
	選択	テキスト理論A	講義	1～2	2	
	選択	テキスト理論B	講義	1～2	2	
	選択	グローバル英語教育A	講義	1～2	2	
	選択	グローバル英語教育B	講義	1～2	2	
	選択	英語コミュニケーション教育A	講義	1～2	2	
	選択	英語コミュニケーション教育B	講義	1～2	2	

文学研究科英語コミュニケーション専攻 博士前期課程 研究指導

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	英語文法分析研究指導A		1～2		
	選択	英語文法分析研究指導B		1～2		
	選択	日英対照言語論研究指導A		1～2		
	選択	日英対照言語論研究指導B		1～2		
	選択	語用論研究指導A		1～2		
	選択	語用論研究指導B		1～2		
	選択	翻訳・通訳論研究指導A		1～2		
	選択	翻訳・通訳論研究指導B		1～2		
	選択	異文化コミュニケーション研究指導A		1～2		
	選択	異文化コミュニケーション研究指導B		1～2		
	選択	スピーチコミュニケーション研究指導A		1～2		
	選択	スピーチコミュニケーション研究指導B		1～2		
	選択	英語文学・英語文化研究指導A		1～2		
	選択	英語文学・英語文化研究指導B		1～2		
	選択	テキスト理論研究指導A		1～2		
	選択	テキスト理論研究指導B		1～2		
	選択	グローバル英語教育研究指導A		1～2		
	選択	グローバル英語教育研究指導B		1～2		
	選択	英語コミュニケーション教育研究指導A		1～2		
	選択	英語コミュニケーション教育研究指導B		1～2		

履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・修得することができる。
- 主指導教授が担当する「演習」または「講義」は、同一科目を在学中何回でも履修・単位修得することができる。ただし、3回目以降（長期履修学生および原級した場合等）の履修によって修得した成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない。なお、該当する科目は大学院要覧において定める。
- 履修方法3以外の「演習」または「講義」は、在学中1回のみ履修・単位修得することができる。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育上必要と認めるときは、学則第8条に基づき、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる（同一科目は1回目のみ修了要件として扱い、2回目以降の履修によって修得した成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない）。また、上記により履修し修得した単位は、学則第10条の2に基づく、本大学院に入学する前に修得し、本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなす単位（既修得単位）と合わせて、10単位を超えない範囲で修了要件に充当することができる。

文学研究科英語コミュニケーション専攻 博士後期課程 授業科目

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	英語文化特殊研究 A	講義	1～3		
	選択	英語文化特殊研究 B	講義	1～3		
	選択	英語構造分析特殊研究 A	講義	1～3		
	選択	英語構造分析特殊研究 B	講義	1～3		
	選択	日英対照言語学特殊研究 A	講義	1～3		
	選択	日英対照言語学特殊研究 B	講義	1～3		
	選択	テキスト理論特殊研究 A	講義	1～3		
	選択	テキスト理論特殊研究 B	講義	1～3		
	選択	英語コミュニケーション特殊研究 A	講義	1～3		
	選択	英語コミュニケーション特殊研究 B	講義	1～3		
	選択	グローバル英語教育特殊研究 A	講義	1～3		
	選択	グローバル英語教育特殊研究 B	講義	1～3		
	選択	語用論特殊研究 A	講義	1～3		
	選択	語用論特殊研究 B	講義	1～3		

文学研究科英語コミュニケーション専攻 博士後期課程 研究指導

区分	必修・ 選択の別	科目名	講義・演習の別	配当学年	単位数	備考
	選択	英語文化研究指導 A		1～3		
	選択	英語文化研究指導 B		1～3		
	選択	英語構造分析研究指導 A		1～3		
	選択	英語構造分析研究指導 B		1～3		
	選択	日英対照言語学研究指導 A		1～3		
	選択	日英対照言語学研究指導 B		1～3		
	選択	テキスト理論研究指導 A		1～3		
	選択	テキスト理論研究指導 B		1～3		
	選択	英語コミュニケーション研究指導 A		1～3		
	選択	英語コミュニケーション研究指導 B		1～3		
	選択	グローバル英語教育研究指導 A		1～3		
	選択	グローバル英語教育研究指導 B		1～3		
	選択	語用論研究指導 A		1～3		
	選択	語用論研究指導 B		1～3		

履修方法

- 1 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 2 指導教授は、主指導教授 1 名・副指導教授 1 名の計 2 名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が 2 名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に 3 科目（主指導教授 1 名・副指導教授 2 名）を上限として、履修・修得することができる。
- 3 本表に掲げたものの他、指導教授が研究指導上必要と認めた場合は、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる。

別表第4 修了に必要な単位等

博士前期課程

専攻	単位数等
文学研究科哲学専攻	(1) 修了要件となる科目で30単位以上修得すること。 (2) 主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。
文学研究科インド哲学仏教学専攻	(1) 修了要件となる科目で30単位以上修得すること。 (2) 主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。 (3) 「講義」及び「演習」を、在学中それぞれ2単位以上履修・単位修得すること。
文学研究科日本文学文化専攻	(1) 修了要件となる科目で30単位以上修得すること。 (2) 主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。
文学研究科中国哲学専攻	(1) 修了要件となる科目で30単位以上修得すること。 (2) 主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。
文学研究科英文学専攻	(1) 修了要件となる科目で30単位以上修得すること。 (2) 主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。
文学研究科史学専攻	(1) 修了要件となる科目で30単位以上修得すること。 (2) 主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。 (3) 下記の①②を満たすこと。 ① 日本史学コースの者は「日本史学特論ⅠA・B」～「日本史学特論ⅤA・B」の10科目の中から、異なる4科目、8単位以上を修得すること。 東洋史学コースの者は「東洋史学特論ⅠA・B」～「東洋史学特論ⅢA・B」の6科目の中から、異なる4科目、8単位以上を修得すること。 西洋史学コースの者は「西洋史学特論ⅠA・B」～「西洋史学特論ⅣA・B」の8科目の中から、異なる4科目、8単位以上を修得すること。 ② 日本史学コースの者は「日本史学演習ⅠA・B」～「日本史学演習ⅤA・B」の10科目の中から、8単位以上を修得すること。 東洋史学コースの者は「東洋史学演習ⅠA・B」～「東洋史学演習ⅢA・B」の6科目の中から、8単位以上を修得すること。 西洋史学コースの者は「西洋史学演習ⅠA・B」～「西洋史学演習ⅣA・B」の8科目の中から、8単位以上を修得すること。
文学研究科教育学専攻	(1) 修了要件となる科目で30単位以上修得すること。 (2) 主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。
文学研究科英語コミュニケーション専攻	(1) 修了要件となる科目で30単位以上修得すること。 (2) 主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。

博士後期課程

専攻	単位数等
文学研究科哲学専攻	主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。
文学研究科インド哲学仏教学専攻	主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。
文学研究科日本文学文化専攻	主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。
文学研究科中国哲学専攻	主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。
文学研究科英文学専攻	主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。
文学研究科史学専攻	主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。
文学研究科教育学専攻	主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。
文学研究科英語コミュニケーション専攻	主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。

別表第5 教育職員の免許状取得のための授業科目及び単位数

文学研究科哲学専攻 博士前期課程

高等学校教諭専修免許状（公民）・中学校教諭専修免許状（社会）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	科目名	単位数	履修方法
教科に関する科目	24単位	哲学特論A	2	同一科目を複数回履修・修得した場合、初回に修得した単位のみに資格科目として認定される。
		哲学特論B	2	
		哲学演習A	2	
		哲学演習B	2	
		古代中世哲学演習A	2	
		古代中世哲学演習B	2	
		近世哲学研究A	2	
		近世哲学研究B	2	
		近世哲学演習ⅠA	2	
		近世哲学演習ⅠB	2	
		近世哲学演習ⅡA	2	
		近世哲学演習ⅡB	2	
		現代哲学研究A	2	
		現代哲学研究B	2	
		現代哲学演習ⅠA	2	
		現代哲学演習ⅠB	2	
		現代哲学演習ⅡA	2	
		現代哲学演習ⅡB	2	
		論理学特論A	2	
		論理学特論B	2	
		倫理学特論A	2	
		倫理学特論B	2	
合計	24単位	—	—	

文学研究科インド哲学仏教学専攻 博士前期課程

高等学校教諭専修免許状（公民）・中学校教諭専修免許状（社会）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	科目名	単位数	履修方法
教科に関する科目	24単位	インド哲学研究ⅠA	2	同一科目を複数回履修・修得した場合、初回に修得した単位のみに資格科目として認定される。
		インド哲学研究ⅠB	2	
		インド哲学研究ⅡA	2	
		インド哲学研究ⅡB	2	
		インド哲学研究ⅣA	2	
		インド哲学研究ⅣB	2	
		インド仏教研究ⅠA	2	
		インド仏教研究ⅠB	2	
		インド仏教研究ⅡA	2	
		インド仏教研究ⅡB	2	
		インド仏教研究ⅢA	2	
		インド仏教研究ⅢB	2	
		インド仏教研究ⅣA	2	
		インド仏教研究ⅣB	2	
		インド仏教研究ⅤA	2	
		インド仏教研究ⅤB	2	
		東アジア仏教研究ⅠA	2	
		東アジア仏教研究ⅠB	2	
		東アジア仏教研究ⅡA	2	
		東アジア仏教研究ⅡB	2	
合計	24単位	—	—	

文学研究科日本文学文化専攻 博士前期課程

高等学校教諭専修免許状（国語）・中学校教諭専修免許状（国語）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	科目名	単位数	履修方法
教科に関する科目	24単位	日本文学文化特論Ⅱ A	2	同一科目を複数 回履修・修得し た場合、初回に 修得した単位の み資格科目とし て認定される。
		日本文学文化特論Ⅱ B	2	
		日本文学文化特論Ⅳ A	2	
		日本文学文化特論Ⅳ B	2	
		日本文学文化演習Ⅰ A	2	
		日本文学文化演習Ⅰ B	2	
		日本文学文化演習Ⅲ A	2	
		日本文学文化演習Ⅲ B	2	
		日本文学文化演習Ⅳ A	2	
		日本文学文化演習Ⅳ B	2	
		日本文学文化演習Ⅴ A	2	
		日本文学文化演習Ⅴ B	2	
		日本文学文化演習Ⅵ A	2	
		日本文学文化演習Ⅵ B	2	
		日本文学文化演習Ⅶ A	2	
		日本文学文化演習Ⅶ B	2	
		日本文学文化演習Ⅷ A	2	
		日本文学文化演習Ⅷ B	2	
		日本語学特論Ⅰ A	2	
		日本語学特論Ⅰ B	2	
		日本語学演習Ⅰ A	2	
		日本語学演習Ⅰ B	2	
		日本語学演習Ⅱ A	2	
		日本語学演習Ⅱ B	2	
		比較文学A	2	
		比較文学B	2	
		中国文学特論A	2	
		中国文学特論B	2	
合計	24単位	—	—	

文学研究科中国哲学専攻 博士前期課程

高等学校教諭専修免許状（国語）・中学校教諭専修免許状（国語）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	科目名	単位数	履修方法
教科に関する科目	24単位	中国文学特論ⅠA	2	同一科目を複数回履修・修得した場合、初回に修得した単位のみに資格科目として認定される。
		中国文学特論ⅠB	2	
		中国文学特論ⅡA	2	
		中国文学特論ⅡB	2	
		中国文学特論ⅢA	2	
		中国文学特論ⅢB	2	
		中国文学演習ⅠA	2	
		中国文学演習ⅠB	2	
		中国語学研究ⅠA	2	
		中国語学研究ⅠB	2	
		中国語学研究ⅡA	2	
		中国語学研究ⅡB	2	
		文献研究（東洋）A	2	
		文献研究（東洋）B	2	
合計	24単位	—	—	

文学研究科英文学専攻 博士前期課程

高等学校教諭専修免許状（英語）・中学校教諭専修免許状（英語）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	科目名	単位数	履修方法
教科に関する科目	24単位	英文学特論ⅠA	2	同一科目を複数 回履修・修得し た場合、初回に 修得した単位の み資格科目とし て認定される。
		英文学特論ⅠB	2	
		英文学演習ⅠA	2	
		英文学演習ⅠB	2	
		英文学演習ⅡA	2	
		英文学演習ⅡB	2	
		米文学特論A	2	
		米文学特論B	2	
		米文学演習A	2	
		米文学演習B	2	
		英語学特論ⅠA	2	
		英語学特論ⅠB	2	
		英語学演習A	2	
		英語学演習B	2	
		英文学思想A	2	
		英文学思想B	2	
		米文学思想A	2	
		米文学思想B	2	
合計	24単位	—	—	

文学研究科史学専攻 博士前期課程

高等学校教諭専修免許状（地理歴史）・中学校教諭専修免許状（社会）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	科目名	単位数	履修方法
教科に関する科目	24単位	日本史学特論ⅠA	2	同一科目を複数履修・修得した場合、初回に修得した単位のみに資格科目として認定される。
		日本史学特論ⅠB	2	
		日本史学特論ⅡA	2	
		日本史学特論ⅡB	2	
		日本史学特論ⅢA	2	
		日本史学特論ⅢB	2	
		日本史学特論ⅣA	2	
		日本史学特論ⅣB	2	
		日本史学特論ⅤA	2	
		日本史学特論ⅤB	2	
		日本史学演習ⅠA	2	
		日本史学演習ⅠB	2	
		日本史学演習ⅡA	2	
		日本史学演習ⅡB	2	
		日本史学演習ⅢA	2	
		日本史学演習ⅢB	2	
		日本史学演習ⅣA	2	
		日本史学演習ⅣB	2	
		日本史学演習ⅤA	2	
		日本史学演習ⅤB	2	
		東洋史学特論ⅠA	2	
		東洋史学特論ⅠB	2	
		東洋史学特論ⅡA	2	
		東洋史学特論ⅡB	2	
		東洋史学演習ⅠA	2	
		東洋史学演習ⅠB	2	
		東洋史学演習ⅡA	2	
		東洋史学演習ⅡB	2	
		西洋史学特論ⅠA	2	
		西洋史学特論ⅠB	2	
		西洋史学特論ⅡA	2	
		西洋史学特論ⅡB	2	
		西洋史学特論ⅢA	2	
		西洋史学特論ⅢB	2	
		西洋史学特論ⅣA	2	
		西洋史学特論ⅣB	2	
		西洋史学演習ⅠA	2	
		西洋史学演習ⅠB	2	
		西洋史学演習ⅡA	2	
		西洋史学演習ⅡB	2	
		西洋史学演習ⅢA	2	
		西洋史学演習ⅢB	2	
		西洋史学演習ⅣA	2	
		西洋史学演習ⅣB	2	
		文献研究（日本）A	2	
		文献研究（日本）B	2	
		文献研究（東洋）A	2	
		文献研究（東洋）B	2	
		文献研究（西洋）A	2	
		文献研究（西洋）B	2	
合計	24単位	—	—	

文学研究科教育学専攻 博士前期課程

高等学校教諭専修免許状（地理歴史・公民）・中学校教諭専修免許状（社会）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	科目名	単位数	履修方法
教科に関する科目	24単位	学校教育研究特殊講義A	2	同一科目を複数回履修・修得した場合、初回に修得した単位のみに資格科目として認定される。
		学校教育研究特殊講義B	2	
		教育学説史研究特殊講義A	2	
		教育学説史研究特殊講義B	2	
		学校教育研究演習A	2	
		学校教育研究演習B	2	
		比較教育史演習A	2	
		比較教育史演習B	2	
		教育学説研究特殊講義A	2	
		教育学説研究特殊講義B	2	
		学習指導論特殊講義A	2	
		学習指導論特殊講義B	2	
		教育学説研究演習A	2	
		教育学説研究演習B	2	
		生徒指導・進路指導特殊講義	2	
		心理査定法特殊講義A	2	
		心理査定法特殊講義B	2	
		心理発達学特殊講義A	2	
		心理発達学特殊講義B	2	
合計	24単位	—	—	

特別支援学校教諭専修免許状（知的障害者、肢体不自由者、病弱者）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	科目名	単位数	履修方法
教科に関する科目	24単位	発達障害児教育研究特殊講義A	2	同一科目を複数回履修・修得した場合、初回に修得した単位のみに資格科目として認定される。
		発達障害児教育研究特殊講義B	2	
		発達障害児教育研究演習A	2	
		発達障害児教育研究演習B	2	
		臨床教育心理学特殊講義A	2	
		臨床教育心理学特殊講義B	2	
		臨床教育心理学研究演習A	2	
		臨床教育心理学研究演習B	2	
		発達障害児臨床心理研究特殊講義A	2	
		発達障害児臨床心理研究特殊講義B	2	
		カウンセリング実習	2	
		臨床教育心理治療法特殊講義	2	
		学習心理学特殊講義A	2	
		学習心理学特殊講義B	2	
		心理適応論研究演習A	2	
		心理適応論研究演習B	2	
合計	24単位	—	—	

小学校教諭専修免許状

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	科目名	単位数	履修方法
教科に関する科目	24単位	学習指導論研究演習A	2	同一科目を複数回履修・修得した場合、初回に修得した単位のみに資格科目として認定される。
		学習指導論研究演習B	2	
		教育行財政学特殊講義A	2	
		教育行財政学特殊講義B	2	
		授業分析論特殊講義	2	
		音楽科教育研究演習	2	
		図画工作・美術科教育研究演習	2	
		社会科教育研究演習	2	
		比較教育史特殊講義	2	
		教育文化論特殊講義	2	
		環境教育論特殊講義	2	
		理科教育研究演習	2	
		国語科教育研究演習	2	
		算数・数学科教育研究演習	2	
		教育心理学特殊講義	2	
		教育相談学特殊講義	2	
合計	24単位	—	—	

文学研究科英語コミュニケーション専攻 博士前期課程

高等学校教諭専修免許状（英語）・中学校教諭専修免許状（英語）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	科目名	単位数	履修方法
教科に関する科目	24単位	英語文法分析演習 A	2	同一科目を複数回履修・修得した場合、初回に修得した単位のみに資格科目として認定される。
		英語文法分析演習 B	2	
		日英対照言語論演習 A	2	
		日英対照言語論演習 B	2	
		語用論演習 A	2	
		語用論演習 B	2	
		翻訳・通訳論演習 A	2	
		翻訳・通訳論演習 B	2	
		異文化コミュニケーション A	2	
		異文化コミュニケーション B	2	
		スピーチコミュニケーション A	2	
		スピーチコミュニケーション B	2	
		英語文学・英語文化 A	2	
		英語文学・英語文化 B	2	
		テキスト理論 A	2	
		テキスト理論 B	2	
		グローバル英語教育 A	2	
		グローバル英語教育 B	2	
		英語コミュニケーション教育 A	2	
		英語コミュニケーション教育 B	2	
合計	24単位	—	—	